

～今年もコロナ禍が続く中、多くの方々のご参加・ご協力を頂き、

沢山の美しいドラマと素晴らしい成果が生まれました☆～

～地域と地球のポップな架け橋～

NICE 2021 年・総合報告書

(暫定版 I)

☆カラフルでヘルシーな世の中を☆



<目次>

* 「飛ぶ」をクリックすると、各頁に飛びます。

1章) 総合 (全体統計、分野別報告など)	(P02-11)	飛ぶ
2章) 主幹事業1 国内ワークキャンプ	(P12-15)	飛ぶ
3章) 主幹事業2 海外ワークキャンプ	(P16-17)	飛ぶ
4章) 主幹事業3 オンライン・ワークキャンプ	(P18-19)	飛ぶ
5章) 主幹事業4 グループ・ワークキャンプ	(P20-21)	飛ぶ
6章) 主幹事業5 寄付プロジェクト	(P22-25)	飛ぶ
7章) その他の事業・外交	(P26-29)	飛ぶ
8章) 財務・決算	(P30)	飛ぶ
9章) 広報	(P31-32)	飛ぶ
10章) 組織	(P33-36)	飛ぶ



特定非営利活動法人 **NICE** (日本国際ワークキャンプセンター)

1章) 総合 (全体統計、分野別報告等)

[目次に戻る](#)

1-1) 2021年の5大ニュース



① コロナ禍が続き、事業・参加者減Ⓞ

1-3月の貯金があった昨年より更に減り、
事業数は41%減 (国内16%減・海外86%減)
日本人は35%減 (国内37%増・海外78%減)
外国人は93%減 (国内90%減・海外100%減)



② 国内で里山・集落の再生等を発展!

里山や「限界」集落で、ボランティア活動を発展! 日本人参加1.4倍増で成果も向上。Jコインや国土緑化推進機構の助成、月例寄付キャンペーンで寄付も頂き、カラヘル村づくりも試行開始。



⑤ Online Workcamp を3ヶ国で開始☆

多くの団体が行う中、単なる交流・学習だけでなく、寄付やワークで現地に寄与。ベトナム、カンボジア、インドネシアで開催して54人が参加。他団体のオンライン事業にも、日本人を派遣。



③ アジア・Online サミットを初開催Ⓞ

NVDA (アジア・ボランティア発展ネットワーク) の代表として実現を主導。27ヶ国・475人登録で大盛況☆国際交流基金の助成も頂き、12のカラフルな企画への総合評価は90.8/100点!

④ 事務局は横浜移転、専従職員4人に

全国事務局を横浜の「NICEハウス」に移転! 専従職員は11人から2/3減し、休業も行いながら理事達と寄付集めに今年も尽力。454人+3社から584万円超を頂き「極寒期」を乗り越えた☆

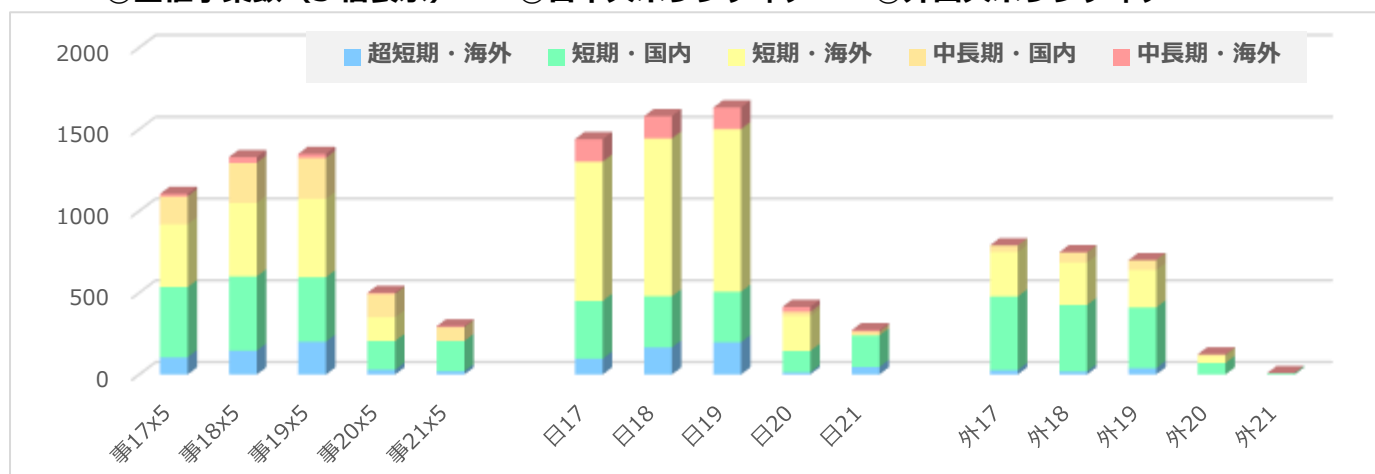
1-2) 2021年の事業数・参加者数

- * 超短期: 6日間以下。短期: 7~31日間。中長期: 32日間以上。海外とのオンライン事業は超短期・海外に
- * 他に数万人の地域住民等が参加! 超短期・国内は参加者数が把握されていない年があるため、今回は含まず。

①主催事業数 (5倍表示)

②日本人ボランティア

③外国人ボランティア



年間確定値 21年は12/15現在	事業数					日本人					外国人				
	17	18	19	20	21	17	18	19	20	21	17	18	19	20	21
超短期・海外一般	19	27	37	6	4	61	94	121	14	46	0	0	18	0	0
超短期・海外グル	2	2	3	0	0	15	28	37	0	0	0	0	0	0	0
超短期・地元一般	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	12	9	0	0
超短期・地元グル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	6	12	0	0
超短期派遣	-	-	-	-	-	21	43	40	0	0	-	-	-	-	-
(超短期小計)	165	193	194	59	71	1666	1832	575	108	442	78	155	83	0	9
短期・国内一般	77	87	76	34	32	305	302	294	129	142	380	369	350	57	5
短期・国内グル	9	4	3	1	5	48	12	15	1	51	70	38	21	14	3
短期・海外一般	65	75	80	23	0	339	400	451	108	0	50	36	54	11	0
短期・海外グル	12	15	16	6	0	140	187	201	67	0	1	5	2	7	0
短期・地元一般	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	163	163	109	0	0
短期・地元グル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59	56	65	23	0
短期派遣	-	-	-	-	-	368	373	336	39	5	0	0	0	0	0
(短期小計)	163	181	175	64	37	1200	1274	1297	344	198	723	667	601	112	8
中長期・国内個人	24	41	45	28	17	2	2	3	22	20	23	44	48	11	0
中長期・国内集団	10	8	5	1	0	5	5	6	4	0	16	18	12	0	0
中長期・海外個人	3	3	2	1	1	33	27	31	5	2	1	1	0	0	0
中長期・海外集団	0	4	3	0	0	12	6	2	0	0	0	0	0	0	0
中長期派遣	-	-	-	-	-	91	102	97	25	5	-	-	-	-	-
(中長期小計)	37	56	55	30	18	143	142	139	56	27	40	63	60	11	0
国内計	120	140	129	64	54	360	321	318	156	213	489	469	431	82	8
海外計	101	126	141	36	5	1080	1260	1316	258	58	301	279	269	41	0
総計	221	266	270	100	59	1440	1581	1634	414	271	790	748	700	123	8

グル=グループ・ワークキャンプ。一般=それ以外の一般公募事業。中長期・海外個人は「ぼらいやー」を含む。

I-3) SDGs に対する NICE のビジョン 2016年に作った「NICE版SDGs」を一部紹介!

全体理念や大部分は賛同・共感するが、NICE版では赤字(元の国連SDGs)を青字のように変え、更に緑字を追加!

1.1 現在 1日 1.25ドル未満で生活する人々と定義される極度の貧困をあらゆる場所で終わらせる。

→全員が最低レベル以上の衣食住を持つ暮らしを営めるようにする

2.b ドーハ開発ラウンドの決議に従い、すべての形態の農産物輸出補助金及び同等の効果を持つすべての輸出措置の並行的撤廃などを通じて、世界の農産物市場における貿易制限や歪みを是正及び防止する。
→自由貿易による地域農業の破壊から守るため、方向を大転換し、各国・各地域が自由に保護策を実施できるようにする。

2.4 (追加) 特に、農業と化学肥料の使用を激減させ、GM作物を根絶し、各国・各地・各家庭の自給率を高め、有機・自然農法を再生・発展する方向に大きく舵を切る。

途上国→物価の安い国
先進国→物価の高い国

6.2 (前略) 適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、衛生の問題を生むような野外での排泄をなくす。

7.1 2030年までに、持続不可能な原子力や化石燃料に頼らず、安価かつ信頼できる現代的→再生可能な自然エネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する

8.1 各国の状況に応じて、一人当たり経済成長率を持続させる。特に後発開発途上国は少なくとも年率7%の成長率を保つ。(削除)

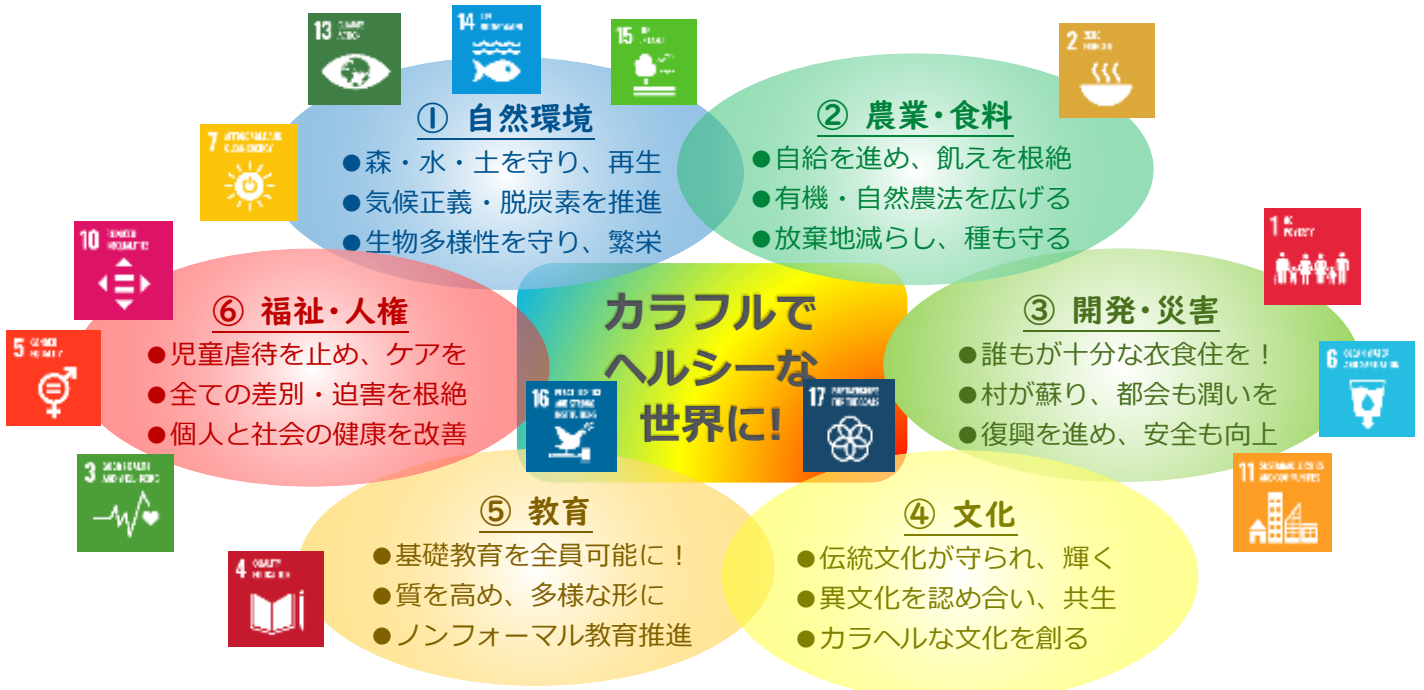
8.7 (前略) あらゆる形態の→悪質な児童労働を撲滅する。一方で良質な子どもの仕事は推奨する。

13.2 気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。2050年までに世界全体の排出量を自然が吸収できる範囲に抑え(炭素換算で約100億トン)、人類1人当たりの排出権を平準化する(70億人なら1人1.4トン)等、世界共通の公正かつ客観的な基準を適用しながら、世界全体の平均気温の上昇を1.5-2度以内に抑える。

16.4 違法な資金及び全ての武器の取引を大幅に減少させ(中略)また、核兵器の廃絶に向けて進み、戦争・内戦・テロも根絶する。

17.2 先進国は、開発途上国に対するODAをGNI比0.7%に、後発開発途上国に対する…(後略)
→による貧困撲滅・環境保護等の正の成果を倍増させ、負の成果を半減させる。

1-4) では、NICE が目指す社会とは!?



1-5) 各分野での、2021 年の主な活動&今後へのビジョン

注：複数分野にまたがる事業が多いが、主な一つに絞ったため、各分野の実際の該当事業は遙かにもっと多い。

<環境 (文責：開澤) >

Pick Up! 湯ノ岳 (福島県いわき市・1/5-3/25)

市民が安全で楽しく利用できるための里山整備に、2名+9名のボランティアが2-3ヶ月間+10日間活動!

- 急斜面での作業用道路造成 (写真左)、笹や木の伐採・草刈り (中央)、雨水の流入を防ぐ溝掘り、杉苗の運搬と水やり (右) を行った。75歳まで若手、という超シニアな環境で若いも若きも、刺激し合えた。



種	事業名	開催地	開始	終了	人	主なワーク	共催団体
①	黒松内	北海道黒松内町	03/22	03/27	3	自然学校の整備とモニターキャンプ実施	黒松内ぶなの森自然学校
③	白神 S1	青森県鯉ヶ沢町	04/28	05/04	3	世界自然遺産・白神山地のブナ林を保護	白神山地を守る会
③	白神 S2	青森県鯉ヶ沢町	06/18	06/28		世界自然遺産・白神山地で植樹祭を運営	白神山地を守る会
⑤	湯ノ岳	福島県いわき市	01/05	03/25	2	栗園跡地再生や散策路整備で、里山保全	いわきの森に親しむ会
③	湯ノ岳 1	福島県いわき市	02/23	03/04	7	栗園跡地再生や散策路整備で、里山保全	いわきの森に親しむ会
③	湯ノ岳 GR1	福島県いわき市	08/08	08/21		栗園跡地再生や散策路整備で、里山保全	いわきの森に親しむ会等
③	湯ノ岳 2	福島県いわき市	08/24	09/02		栗園跡地再生や散策路整備で、里山保全	いわきの森に親しむ会
③	栃木 Youth	栃木県益子町	08/05	08/14		荒れた里山や森整備、自然イベント運営	トチギ環境未来基地
①	霜里	埼玉県小川町	07/22	07/23	13	下草刈り、子ども達と交流、校舎の整備	霜里学校
①	岡上	神奈川県川崎市	02/13	02/13	29	里山で、茅葺き小屋作りや炭素循環農法	かわさき自然と共生の会
①	岡上	神奈川県川崎市	05/22	05/23	43	里山で、茅葺き小屋作りや炭素循環農法	かわさき自然と共生の会
①	岡上	神奈川県川崎市	07/17	07/18	7	里山で、茅葺き小屋作りや炭素循環農法	かわさき自然と共生の会
①	岡上	神奈川県川崎市	11/06	11/07	41	里山で、茅葺き小屋作りや炭素循環農法	かわさき自然と共生の会
①	新百合ヶ丘	神奈川県川崎市	06/06	-	6	菜の花収穫で女性達のエコ油普及を補佐	川崎かえるプロジェクト
①	黒崎	石川県加賀市	07/23	07/25	3	海の家で海岸清掃&循環型養鶏の手伝い	山ん中たまご園
①	黒崎	石川県加賀市	07/30	08/01	1	海の家で海岸清掃&循環型養鶏の手伝い	山ん中たまご園
①	黒崎	石川県加賀市	08/06	08/08	1	海の家で海岸清掃&循環型養鶏の手伝い	山ん中たまご園
①	坂井	福井県坂井町	10/24	-	4	ゴミ拾い、草刈り、石の移動	Compath
⑤	赤目 L1	三重県名張市	01/05	03/25	2	ナショナルトラストの里山整備	赤目の里山を育てる会
③	赤目 1	三重県名張市	03/08	03/18	7	ナショナルトラストの里山整備	赤目の里山を育てる会

⑤	赤目 L2	三重県名張市	06/01	07/31		ナショナルトラストの里山整備	赤目の里山を育てる会
③	富田林 GR	大阪府富田林市	03/15	03/26	10	間伐、草刈りや道作り等で、里山を保全	富田林の自然を守る会
①	富田林	大阪府富田林市	07/17	07/18	1	間伐等で、里山を保全	富田林の自然を守る会
③	富田林 GR2	大阪府富田林市	09/02	09/11		間伐、草刈りや道作り等で、里山を保全	富田林の自然を守る会等
①	富田林	大阪府富田林市	10/09	10/10	3	間伐等で、里山を保全	富田林の自然を守る会
①	富田林	大阪府富田林市	10/23	10/24	5	様々な作業で、里山保全	富田林の自然を守る会
①	富田林	大阪府富田林市	11/13	11/14	5	様々な作業で、里山保全	富田林の自然を守る会
①	富田林	大阪府富田林市	12/18	12/19		間伐等で、里山を保全。里山忘年会	富田林の自然を守る会
①	男木島	香川県高松市	07/03	07/04		海岸清掃等、島内の環境整備	男木島さくら会
③	徳島 GR	徳島県徳島市	08/30	09/05		花ロード整備、川清掃のサポート	びざん大学等
①	宮若	福岡県宮若市	07/17	07/18	15	植林地と竹林の整備	山村塾、こもれびの家
②	Pek OL1	インドネシアと OL	07/03	07/27		海岸でマングローブ林再生。文化体験箱	GREAT
②	TFC	カンボジアと OL	03/12	03/14	20	マングローブ林保全のクラファン企画	CYA

- 種：①国内・超短期（6日間以下）。②海外・超短期。③国内・短期（7～31日間）。⑤国内・中長期（32日間以上）。
- 人：参加ボランティア数（他に住民多数参加）：現在集計中で、1月に全て確定。

今年の環境保護活動・総評

上表の通り、全国13県の14ヶ所及び、海外2ヶ国とのオンラインで計33事業を実施し、数百名のボランティアが活動に若いパワーと活気を注ぎ、大きな成果を生んだ。特に里山保全が20事業と全体の61%（森林保全合計は25事業・76%）を占めて活動の中心となり、海・川の清掃が6事業（18%）で続く。

ここ2年、文化・教育・福祉事業は多くがコロナ禍で中止される中、環境は変わらぬ作業ニーズと受入側の決断もあり、ほぼ存続している。湯ノ岳や赤目では長期と短期のボランティアがうまく融合し、初めて木を切る人も多い中で、作業指導に対する受入団体の負担を軽減できた。また、岡上では3回で計19家族の参加があり、子ども達は自然を楽しみながら、大人達とワークも行って、環境保護意識を豊かに育んだ。またある親子事業では、普段は入らない奥山で作業中、子ども達が絶滅危惧種のサンショウウオを発見した！

一方で、生活面でのエコ意識の徹底不足（電気の消し忘れ等）、作業成果の目標設定・評価・改善・発信のサイクル不足（どの分野もだが）が、多くの事業の課題である。



←Online ワークキャンプ (カンボジア・TFC)

現地でマングローブ林を守り続けるヒムさんが息子の力を借りて実況！両国からTFC経験者も多数参加

社会の状況・変化

①**気候変動**：カナダで50度弱、北極圏で38度以上上がる等、悪影響は強まるばかり。温室効果ガス排出が1人平均8.6t（2018年。世界平均は4.4t）の日本は、2030年の46%減（2013年比）を打ち出したが、実現手段と課程は不透明である。

②**日本の森林**：今年の「ウッドショック」で国産材の競争力が増し、近年の自給率向上（2002年19%→2020年42%）に推進力が加わりそう。が、後先を考えない酷い皆伐や、非効率なバイオマス発電への大量使用等、課題も山積している。

③**生物多様性**：日本狼の最後の目撃からちょうど116年。キタシロサイは2018年に最後のオスが死に、現在メス2頭が残るのみとなった。

来年の戦略・計画

①**気候変動**：日本政府の2兆円対策費の活用も探りながら、2016年より実践中のカーボン・オフセット事業を伸ばしたい。各事業では「2050年の持続可能な生活」（排出量1人1トン）を、みんなでデザインし、実践してみるのはいかがでしょうか。

②**日本の森林**：熊本県水俣市で先行してきた、間伐した竹林を炭にして、地元施設の燃料として活用する取り組みを他の開催地にも波及させたい。里山活動では、先述「サイクル」を充実させる。

③**生物多様性**：絶滅寸前だったが、様々な努力で少し増えつつある中央アルプスのライチョウ等、絶滅危惧種の保護にできることもあるはず。先述のサンショウウオが守られる方策も行いたい。

＜農業（文責：梶田）＞



Pick Up! 最上（山形県最上町）

今年初開催で週末・超短期を3回開催。過疎化・高齢化が進む地域で、平飼養鶏のお手伝いや農作業など、7名のボランティアが活動。メンバーと地域住民が地域の未来を語り合う時間も。中長期ボランティアも募集中。

種	事業名	開催地	開始	終了	人	主なワーク	共催団体
⑤	函館	北海道函館市	10/04	11/23	1	函館の農園を中心に、カラフルな活動	大沼マイルストーン 22
③	西和賀	岩手県西和賀町	09/07	09/16	4	耕作放棄地や小川の整備、高齢者と交流	大野集落営農組合
⑤	西和賀	岩手県西和賀町	10/01	11/03	1	地域の環境活動を始めとする諸活動等	西和賀・大野集落営農組合
①	最上	山形県最上町	06/05	06/06	4	平飼い鶏のお世話、田畑で農作業手伝い	最上の荘園
①	最上 VS	山形県最上町	10/30	11/03	1	キクラゲ栽培補佐、平飼養鶏補助	最上の荘園
①	最上	山形県最上町	11/20	11/21	2	平飼い鶏のお世話、田畑で農作業手伝い	最上の荘園
①	さいたま	埼玉県さいたま市	06/12	06/12	8	無農薬米作りのお手伝い	十色ファーム
①	踊場	神奈川県横浜市	03/27	03/29	?	NICEハウスの庭の手入れ	-
①	踊場	神奈川県横浜市	10/01	10/02	?	赤紫蘇摘み、ジュース作り	-
③	今庄	福井県南越前町	08/04	08/13	1	小菊の収穫と出荷。菊を使った観光発案	ぶらすたいむず
⑤	今庄	福井県南越前町	10/25	11/30	1	つるし柿づくりに関わる加工や広報	ぶらすたいむず
①	今庄	福井県南越前町	11/27	11/28	10	つるし柿の加工、古民家整備	ぶらすたいむず
①	HBF	愛知県美浜町	01/09	01/10	3	遊べる農園づくり。堆肥蒔き等	HAPPY BABY FARM
③	御所 1	奈良県御所市	03/22	03/28	4	耕作放棄地の手入れ、有機農業手伝い	白神山地を守る会
①	御所	奈良県御所市	07/31	08/01	7	水田の草取り、野菜の種まき	杉浦農園
③	御所 2	奈良県御所市	08/01	08/10	5	耕作放棄地の手入れ、有機農業お手伝い	杉浦農園
③	御所 GR	奈良県御所市	08/14	08/23	11	耕作放棄地の手入れ、有機農業お手伝い	杉浦農園
①	古座川	和歌山県古座川町	05/01	05/02	7	香り米の田植え	三尾川未来への会
③	大井 2	徳島県阿南市	08/06	08/13	7	四国遍路の周辺で農業支援、集落再生	アサギマダラ広域文化保存会
③	大井 4	徳島県阿南市	10/09	10/17	1	四国遍路の周辺で農業支援、集落再生	アサギマダラ広域文化保存会
③	大井 6	徳島県阿南市	12/22	12/29	7	四国遍路の周辺で農業支援、集落再生	アサギマダラ広域文化保存会
⑤	徳島	徳島県各地	01/05	03/25	2	花壇作りや母農家の手伝い	びざん大学
⑤	伊方	愛媛県伊方町	02/16	03/14	1	人手不足のみかん園で、収穫・整備	喜久家
③	伊方	愛媛県伊方町	02/27	03/17	5	人手不足のみかん園で、収穫・整備	喜久家
⑤	伊方	愛媛県伊方町	08/16	09/17	1	人手不足のみかん園で、収穫・整備	喜久家
⑤	伊方	愛媛県伊方町	11/01	12/15	1	人手不足のみかん園で、収穫・整備	喜久家
⑤	伊方	愛媛県伊方町	12/06	12/31	1	人手不足のみかん園で、収穫・整備	喜久家
①	北魚目 VS	長崎県新上五島町	07/22	07/27	7	耕作放棄地再生、景観保護	新上五島町役場
⑤	黒木	福岡県八女市	05/12	07/16	1	耕作放棄地の進む伝統的な棚田で米作り	山村塾
⑤	奥八女	福岡県八女市	08/26	09/30	1	農作業を通しての民俗芸能作りと普及	山村塾
③	えらぶ 1	鹿児島県和泊町	03/01	03/14	9	離島で人手不足の農家で菊収穫・出荷	長田農園等、実行委員会

今年の農業活動・総評

上表の通り、全国 14 府県の 15 ヶ所で計 30 事業を実施し、約 120 人のボランティアが活動、人手不足の集落や農家で有機農業や特産品の加工等に力を注ぎ、大きな成果を生んだ。

北魚目、最上等、初開催の地域もあり、今後の発展に期待。

必要な時期にボランティアが集まらないことも。もっと活動を発信し、農業活動に興味をもつ機会を増やしていきたい。

社会の状況・変化

農業従事者は、2015-2020 年の 5 年間で 46 万人減り、152 万人となった。従事者の高齢化や、食料自給率の低下も大きな問題。

近年はコロナ禍で学校給食や飲食店の営業停止等、既往販路の縮小により、売り上げが減少。オンラインで販売する動きもある。

また技能実習生等、外国人の働き手が大幅に減り、人手不足に。一方で、ワーケーションや「半農半 X」への関心が高まっている。

来年の戦略・計画

既存事業の広報・成果発信を行い、1 人でも多くの人々が活動に関わることで人手不足の助けや農業への関心を高める契機をつくる。

また農林家事業と連携し、共催・協力団体を通じて、新規開拓を行う。

他分野の開催地でもメンバーに食品ロスの削減や地産地消を促し、それぞれの活動をシェアするなど、NICE 全体で取り組む。

＜開発（文責：開澤）＞

Pick Up! 大土（石川県加賀市）

住民 1 名+猫 1 匹の集落で、1 名+10 名のボランティアが 3 ヶ月間+7 日間活動！！

- 雪かきを中心に、古民家の片付け、雪が減った 3 月は苗植え、なめこのコマ打ち、味噌造り、木の伐採等がいい汗を流した。
- SNS を通じて知名度が上がり、ワークキャンプ参加者も増え、大土ファン更に増加中。



種	事業名	開催地	開始	終了	人	主なワーク	共催団体
⑤	大土	石川県加賀市	01/05	03/25	1	伝統建築保全地区での雪かき	自然体験おおづち村
③	大土 1	石川県加賀市	02/03	02/09		伝統建築保全地区での雪かき、農作業	自然体験おおづち村
③	大土 3	石川県加賀市	02/11	02/17		伝統建築保全地区での雪かき、農作業	自然体験おおづち村
①	大土	石川県加賀市	03/13	03/14	?	伝統建築保全地区での田畑準備・雪かき	自然体験おおづち村
③	大土 2	石川県加賀市	03/19	03/25	6	伝統建築保全地区での雪かき、農作業	自然体験おおづち村
①	大土	石川県加賀市	04/10	04/11	?	伝統建築保全地区でのよもぎ収穫	自然体験おおづち村
①	大土	石川県加賀市	05/01	05/03	?	伝統建築保全地区での田植え	自然体験おおづち村
①	大土	石川県加賀市	08/08	08/09		伝統建築の村で農作業（高校生対象）	自然体験おおづち村
③	大土 4	石川県加賀市	08/17	08/30		限界集落で耕作放棄地再生、棚田整備	自然体験おおづち村
③	大土 5	石川県加賀市	09/02	09/15		農作業、稲刈り、冬支度	自然体験おおづち村
⑤	小原	福井県勝山市	05/12	06/13	1	住民 1 名の村で、耕作放棄地の開墾	小原 ECO プロジェクト
①	小原	福井県勝山市	05/22	05/22	?	住民 1 名の村で、耕作放棄地の開墾	小原 ECO プロジェクト
③	小原	福井県勝山市	07/22	07/28		古民家や耕作放棄地の再生、薪割り	小原 ECO プロジェクト
①	熊野	三重県熊野市	10/30	10/31		集草作業、公民館整備	西山地域まちづくり協議会
①	大淀	奈良県大淀町	04/09	04/12	?	梨の花マルシェの運営ボラ	梨の花プロジェクト委員会
①	IB ビレッジ	広島県呉市	07/17	07/18		草刈り、住民と交流会	実行委員会
①	IB ビレッジ	広島県呉市	08/14	08/15		草刈り、住民と交流会	実行委員会
①	IB ビレッジ	広島県呉市	09/11	09/12		草刈り、住民と交流会	実行委員会
①	IB ビレッジ	広島県呉市	10/30	10/31		草刈り、住民と交流会	実行委員会
①	IB ビレッジ	広島県呉市	11/13	11/14		草刈り、古民家清掃、住民と交流会	実行委員会
③	男木島	香川県高松市	08/01	08/07		島内の環境整備、地域の活性化	男木島さくら会

今年の開発活動・総評

上表の通り、6 県の 6 ヶ所で計 21 事業を実施し、約 100 名のボランティアが集落再生の作業や地域活性化に取り組んだ。

約半数の 10 事業を開催した大土では二枚田さんと参加経験者達が一般社団を設立、100 年後に村を残す活動を強化中。

コロナ禍で住民が合意できず、停止中の開発事業も多い中、住民 1~十数名程の「突き抜けた」集落での継続が多い。

1~3 月は J コイン事業で 4 ヶ所で 10 名の長期ボランティアが、大きな成果を生んだ。

社会の状況・変化

2016 年の政府調査によると、2010-15 年に 190 集落が消滅し、「限界集落」は 14,375 に 4 割増。2050 年までに、現在の居住地域の約 2 割が無人口化すると予測される。

国全体の人口が減る中、一定の消失は避けがたく、「選択と集中」で中心部に集めてコンパクト・タウンを作る「撤退戦略論」もある。

が、各集落で保たれてきた固有の貴重で素晴らしい文化・営み・景観・自然は一度失われると二度と取り戻せない。やり方次第では、「宝」を磨いて保護・活用しながら消滅を減らすことはできるはず。

来年の戦略・計画

「美しい村」で暮らしたい人は、増えている。競争・膨張・効率に偏る文明社会に疑問を持ち、豊かな自然や文化に触れ、人間らしい生活への志向。加えて、業種等によってはコロナ禍でリモートワークの有効性、兼業の強みが実証されている。

また休職・失職者、虐待、家出、引きこもり、難民申請者等、困窮に置かれたり、生きづらさを感じる人も増え、過疎集落がその一つの受け皿になる可能性も秘めている。

今年は「集落再生」事業を試行し、特別職員も募集したが、うまくいかなかったため、来年は何としてでも確保して、計画を進めたい！

<文化 (文責：島山) >



Pick Up! 古座川 (和歌山県古座川町)

国指定天然記念物に登録されている、日本一大きな一枚岩に映像を投影する映画祭プロジェクトをサポート。プロジェクトを通じて地域の魅力発信や地元住民の交流の場を生み出し、地域の活性化に繋げていく。

映画祭の準備段階からボランティアが関わり、地域活性化のアイデアを考えるオンラインワークショップを組み合わせた、連続週末ワークキャンプ企画。22年3月に対面開催予定の映画祭「Vol.1」の準備回となる12月のワークキャンプには、6人のボランティアが活動(22年1月以降も映画祭に向けて継続開催の予定)。

種	事業名	開催地	開始	終了	人	主なワーク	共催団体
①	古座川	和歌山県古座川町	03/13	03/14	5	大地を見上げる映画祭の運営サポート	大地を見上げる映画祭実行委員会
①	古座川	和歌山県古座川町	12/11	12/12	5	大地を見上げる映画祭の準備サポート	大地を見上げる映画祭実行委員会
③	徳島	徳島県徳島市	08/08	08/21	7	遊覧船の運航補佐。阿波踊り盛り上げ	NPO 法人びざん大学
②	日中韓 YOF	中・韓と OL	08/25	08/28	16	オンラインでの文化交流、討論	MRA/Initiatives of Change

今期の文化活動・総評

- 4事業に33人参加(予定)。
- 7月頃から新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて、地域のイベント(伝統行事、お祭りなど)のサポートなどに取り組む内容のワークキャンプは、中止の判断となるケースが目立った。
- オンライン事業では日本×中国×韓国の若者が文化交流や、デジタル時代の若者の連帯と協力などをテーマにディスカッションを行うフォーラムを開催。オンラインではあるが東アジア各国の若者が意見交換や互いの文化を共有する機会となった。
- 短期国内事業では、阿波踊り開催中の徳島市で開催。市内中心部で運行される遊覧船運航サポートなど、共催団体が関わる活動を通じて、地域住民や観光客と阿波踊りを踊るなど交流を図った。

社会の状況・変化と今後の戦略

- 来年度目標：8事業50人参加。
- 国内の新型コロナウイルスのワクチン接種の浸透などを受け、対面活動やイベント開催時の規制緩和が進み、来春～来夏には各地域でのイベントや行事の復活、ボランティア受入の再開に繋がる地域が増えていくことに期待(オミクロン株の流入や「第6波」への懸念なども考慮する。)
- 開催地によってはイベントや行事の開催が可能となる場合でも、外部からの人の受入に制限が出る可能性もあるため、事業確認のタイミングだけではなく、共催団体とはこまめに連絡を取り合い、地域のワークキャンプ開催に対しての温度感を掴めるようにしていく。

<教育 (文責：井口) >



Pick Up! にじいろキャンプ (愛知県豊田市)

外国にルーツのある子ども達と愛知淑徳大学小島ゼミの交流事業。2014年から始まり今年がラスト。

- 言葉や経済面など様々な問題で一般の学校に馴染めず、不登校になったり、心を閉ざしがちな子ども達との交流イベント。今年は『自分の想いを好きなようにあらわそう』をテーマに大学生がプログラムを企画・運営。
- 「人を信じることができた」、大学宛に児童が2日間のイラストを送る等、子ども達への成果は大きかった。

種	事業名	開催地	開始	終了	人	主なワーク	共催団体
③	白神 3	青森県鱒ヶ沢町	07/31	08/09	5	子ども自然キャンプの運営補佐	白神自然学校
②	大土 VS1	石川県加賀市	08/06	08/09	4	限界集落で農業親子キャンプ	自然体験おおづち村
①	にじいろ	愛知県豊田市	11/13	11/14	25	外国にルーツのある子ども達と学生交流	トルシーダ
③	赤目 2	三重県名張市	08/09	08/19	5	里山整備と子どもキャンプ運営手伝い	赤目の里山を育てる会
③	鴨島 1	徳島県吉野川市	03/22	03/31	11	複合型で児童館の運営補佐、児童と交流	吉野川市立鴨島児童館
③	鴨島 2	徳島県吉野川市	08/15	08/28	3	児童館でオンライン企画や子どもと遊び	吉野川市立鴨島児童館
③	鴨島 3	徳島県吉野川市	12/15	12/29	1	児童館で X マス補佐やオンライン企画	吉野川市立鴨島児童館
⑤	新町	徳島県徳島市	通年	-	2	小学校や幼稚園での国際文化交流を補佐	びざん大学
⑤	今治	愛媛県今治市	01/30	12/31	1	保育園に通う主に 0~3 歳児の世話	愛児園 マミーランド
①	大洲	愛媛県大洲市	07/23	07/24	?	草取り、子ども達とアクティビティ	HUG EARTH

今年の教育活動・総評

全国 6 県 8 ヶ所、計 10 事業を実施し、57 人のボランティアが活動。自然の中や施設内でコロナに配慮しながら子ども達と交流。

コロナ禍で人との交流が難しくなった世の中だが、子ども達は人と交流することの楽しさや意義を感じ、多大な成果を生んだ。

子ども達が自然体験、大学生や大人・外国人と交流する機会は、学校教育とは異なる教育的要素がある。コロナ禍だが開催できて良かった。

社会の状況・変化

不登校：小学生は 6 万 3350 人（前年度比 1 万人増）、中学生は 13 万 2777 人（同 4855 人増）いた。

不登校生の 55%が 90 日以上の長期欠席。不登校の小中学生は 2013 年度から 8 年連続で増え、比較可能な 1991 年度の統計開始以降 2021 年が最多。1 千人あたりの不登校者数は 20・5 人（同 1・7 人増）だった。

来年の戦略・計画

コロナが落ち着けば、夏の子ども自然キャンプ補佐プログラムの更なる復活や、NICE30 周年記念祭で盛り上がった親子ワークキャンプ（週末含）が多数企画される可能性がある。

中高生向けのプログラムもポテンシャルがあると感ずるので、開催地を増やすこともアリではないか。

児童館×国際ボランティアの親和性は高いので、他の児童館への波及もアリか。

＜福祉（文責：島山）＞

Pick Up! ESA（ベトナムとの Online Workcamp）

コロナ禍で仕事は減り、エコたわし収入も途絶えて一層困窮する水上スラムとつながって、日本・ベトナムから計 10 名が 3 日間活動！

- 特に壊れた浄水槽の補修ができず、深刻な健康被害が出ているため、150 個のたわしを日本で売るための作戦を考え、試行した。



種	事業名	開催地	開始	終了	人	主なワーク	共催団体
②	西和賀	岩手県西和賀町	09/07	09/16	4	耕作放棄地や小川の整備、高齢者と交流	大野集落営農組合
①	小山	東京都東久留米市	05/16	05/16	0	児童養護施設で子ども達と遊ぶ	小山児童学園
①	小山	東京都東久留米市	12/19	12/19	1	児童養護施設で子ども達と遊ぶ	小山児童学園
③	真木 1	長野県小谷村	06/30	07/11	2	生活共同体で、有機農業や荷揚げ	共働学舎・真木農場
③	真木 2	長野県小谷村	08/19	08/25	9	生活共同体で、有機農業や荷揚げ	共働学舎・真木農場
③	真木 4	長野県小谷村	09/13	09/19	2	生活共同体で、有機農業や茅葺き修理	共働学舎・真木農場
③	立屋	長野県小谷村	09/21	10/02	2	生活共同体で、有機農業や生活補佐	共働学舎・立屋農場
②	ESA	ベトナムと OL	03/05	03/07	10	スラムを応援する、エコたわしを販売	SJV

今年の社会福祉活動・総評

- 8 事業に 30 人参加（予定）。
- 夏秋事業は新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、小山週末ワークキャンプが中止となる等、福祉施設等を訪問しての活動は西和賀のみとなったが、オープンエアな環境下で活動が出来る真木、立屋で無事に開催。
- 西和賀では地域の福祉施設を訪問。スタッフ、入所者の方との交流や作業のサポートに取り組んだ他、地域の今後の福祉活動の展望についても話し合いを行った。
- ある所では、他者とのコミュニケーションに不安を抱える小学生と父親の親子が参加。豊かな自然の中で農作業等に取り組む中で他の参加者と打ち解けて活動できた。

社会の状況・変化と今後の戦略

- 来年度目標：12 事業 40 人。
- ワークニーズのある開催（候補）地域・団体の発掘を目指して、情報収集を進める。既存の共催団体の方や福祉業界で活動している会員など関係性がある人からの紹介や、行政などへの問合せで繋がりを広げたい。
- 対面活動で健常者以上に感染対策などを強く求められることが考えられるため、オミクロン株の流入や「第 6 波」の可能性など感染状況を考慮しながら活動の可能性を探る。
- ESA のオンライン事業などオンラインを活用した交流活動も組み合わせながら福祉活動を支援していきたい。

I-6) NICE 危機克服・新飛躍プラン

コロナ禍によって数年間は壊滅的な打撃を受ける中、NICE と国際ボランティア Movement が生き残り、持続的に再・新飛躍するための、3年間の戦略プラン。2020年9月に各職員・理事が私案を出し合い、オンラインでの現会員・元会員・共催団体への聞き取りを経て、12月の理事会で修正し、総会で決定・完成した。

「必須プラン」(最優先で総力を挙げて取り組み、何としても実現させる!) 各詳細は[こちら](#)。

プラン名	概要	2021年の主な動き・結果
O1: オンライン・ワークキャンプ	オンラインで日本&開催国(アジア想定)を繋ぎ、交流はもちろんのこと、現地へ貢献できるプログラムを実施	3事業(ベトナム、カンボジア、インドネシア)を開催。日本人25人+現地人29人が参加し、国際ボランティアが途絶えた各地に心身で新たな力を生んだ! ニーズはあるが、企画者不足等で増やせず。
N2: 限界集落再生	廃村やその寸前の集落を守り、森・田畑・家・文化を再生する本格事業を地元NPOと展開。半移住等も推進。	小原(福井)・大土(石川)で1年間職員を募集。が、大土はコロナ禍で募集停止、小原は1名が1ヶ月間活動するも、合わず終了。ボランティアはこの2ヶ所+真木(長野)・大井(徳島)等で大活躍!
N3: 農林水産業応援	住み込みが共同生活で、食料生産に加わる。学生・長期から開始。技能実習支援・運営や海外農家への派遣も。	先駆事業のえらぶ(鹿児島)で、今年も3月に短期ワークキャンプを開催し、中長期ボランティア(農家住み込み・小遣い付)も募集を開始して、1名が来春に活動決定! それ以上は手が回らず...
J3: 企業との連携強化	各企業へ社会貢献活動を提案。従業員へワークキャンプや事務局ボランティアの紹介。企業や参加者に寄付募集	勤務する理事の主導で、三菱UFJ銀行の寄付事業が9件も実現、J&Jからは北陸の活動への寄付。カタル航空とも提携を開始。シチズンとEco Tree Actionで、カンボジアで2万本余の植樹を実現。
J5: 親子/キッズ Workcamp	国内で遊び、ワーク、社会学習、SDGsゲーム、異文化交流等の4日間。2週間滞在するボランティアが運営。	岡上(神奈川)で週末ワークを3回開催し、19家族が参加! 9年連続の小原は4家族で定員超える盛況! 真木は2家族、大土は1家族で何とか初成立。狙った規模には程遠く、テコ入れ必要!

「歓迎プラン」(実行体制が整い、立ち上がればOK) 詳細は[こちら](#)。

O2: 小/中/高/社会人向け NICE 学校	週1x1-3ヶ月、日本・世界・仕事を知る、英語を使う等の授業を運営。世界の現場から社会を考えるゼミも。	新規は特に動けず。国土館大学で開澤、杉並総合高校で井口が授業を運営。
O3: NICE ギガ・コミュニティ	NICE 経験者なら誰でも入れる Slack の場。スピンオフ企画を推奨し、事業化につなげる。定例会・勉強会も開催。	特に動けず。
O6: 課題解決型オンライン事業	テーマや地域別に課題を解決するための活動の企画立案~実行・検証までを、プロジェクトとしてプログラム化	インドネシアとの7月の Online workcamp は、これに近い形で実施。
N1: 国際開発協力	スラム自立支援、学校建設、森林再生等を丸ごと担う本格事業をアジアの NGO と展開。外務省の補助金等を活用。	ベトナム ESA、カンボジア TFC は寄付や Online workcamp で連携深化。
N4: 寄付・物産振興	国内共催団体の販売品を協賛金付に。また事業毎の寄付をボランティアと同様に広く募り、特産品を返礼に。	上記の Online workcamp 3つでは事業毎の寄付を開始も、他は動けず。
N5: 発信・連携推進	教材作って配信や出前授業、安全・旅行・地域情報を発信、本・マンガ・映画や提言作り。Local 間の国際連携推進	イラストレーターから漫画化への申し出もあるも、話が進まず。
N6: Workcamp 町	コンサルタントを地域に配置。ワークキャンプ実施や住民の企画力育成、地域戦略作り。企業・大学にも配置。	3月に退職した職員が、 Workcamp 村の CF を地元で開始、165万円達成
N8: 交流	アイスブレイクを含め、交流の場を提供。リアルでのつながりを求めている層が対象。年に10回企画。	特に動けず。
J1: 成果主体のサイクル確立	SDGs を軸に計画~発信。成果を可視化、地域長期目標と連動。参加者・寄付・共催を増やり、成果を向上させる。	分野別成果の発信催しを 7/12-26 に実施。
J6: SNS と Web で発信強化	Youtube で地域・文化の魅力と課題を海外向けに英語で発信。国際ボランティア等のポータルサイトの作成と運用。	動けず。コンテンツは山程あるが、作る人がなく、チャンネルも低調。

2章) 主幹事業 1 国内ボランティア活動

(週末：1-3日間、超短期：4-6日間、短期：7-31日間、中長期：32-365日間)

2-1) 2021年の5大ニュース

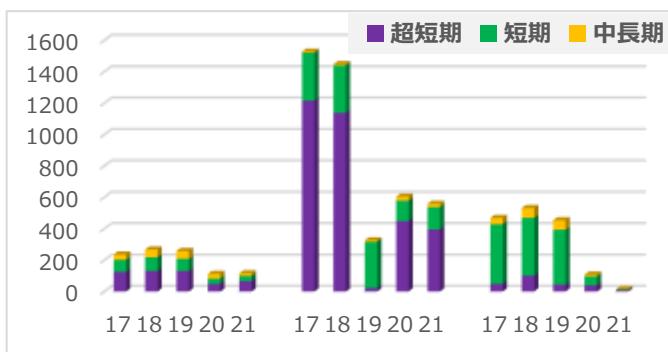
[目次に戻る](#)

- ① **週末・超短期**：短期事業への6日間以内の部分参加や研修も含めて、計67事業を開催（見込み）。
- ② **短期**：前年比日本人10%増・外国人91%減。海外からの参加はゼロに。子ども系がコロナ禍で減るも、里山と人口1～数十名の「限界」集落中心に開催。
- ③ **中長期**：前年比事業数39%減、20名の日本人が参加。Jcoin基金助成事業で4地域8名が参加・活躍！
- ④ **初開催ラッシュ**！香川県高松市の男木島で短期初開催。長崎県新上五島町と山形県最上町で超短期初開催。奈良県大淀町、山形県最上町、埼玉県さいたま市、香川県三豊町、福井県坂井町等で週末初開催！
- ⑤ **事前準備**：短期では、事業別オリエンテーション（Online）、分野別プレワークキャンプ（対面）で充実。

2-2) 全体の各種統計（事業数・参加者数・地域比・分野比等）

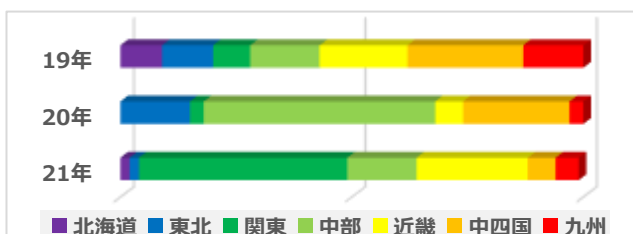
	事業数					日本人					外国人				
	17	18	19	20	21	17	18	19	20	21	17	18	19	20	21
研修	-	-	-	-	5	-	-	-	-	43	-	-	-	-	1
週末	-	-	-	-	44	-	-	-	-	317	-	-	-	-	2
超短期	-	-	-	-	18	-	-	-	-	36	-	-	-	-	6
超短期計	125	131	132	49	67	1216	1139	22	449	396	49	101	44	39	9
短期	77	87	76	34	32	305	302	294	129	142	380	369	350	57	5
中長期個人	24	41	45	28	17	2	2	3	22	20	23	44	48	11	0
中長期集団	10	8	5	1	0	5	5	6	4	0	16	18	12	0	0
(計)	236	267	258	112	116	1528	1448	325	604	558	468	532	454	107	14

*グループ・ワークキャンプ（大学・サークル・企業等、特定の団体のために企画される事業）は含まず。



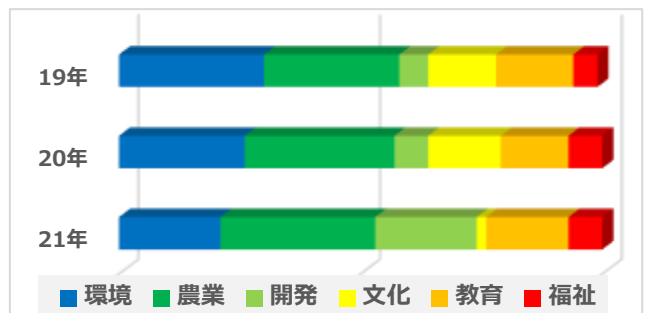
< 開催地域 >

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中四国	九州
19年	9%	11%	8%	15%	19%	25%	13%
20年	0%	15%	3%	50%	6%	23%	3%
21年	2%	2%	45%	15%	24%	6%	5%



< 活動分野 >

	環境	農業	開発	文化	教育	福祉
19年	30%	28%	6%	14%	16%	5%
20年	26%	31%	7%	15%	14%	7%
21年	21%	32%	21%	2%	17%	7%



< 参加者の内訳 >

	外国人			日本人		
	女性	学生	年齢	女性	学生	年齢
18年	64%	42%	29	65%	88%	21
20年	64%	67%	23	65%	87%	21
21年	57%	74%	26	66%	75%	21

2-3) 開催事業一覧

環境

農業

開発

文化

教育

福祉

<<週末・超短期>>

事業名	開催地	開始	終了	回数	主なワーク	共催団体
HBF	愛知県美浜町	01/11	01/12		遊べる農園作り。堆肥時き等	HAPPY BABY FARM
富田林	大阪府富田林市	01/18	01/19	7回	里山の保全。どんと焼き	富田林の自然を守る会
大土	石川県加賀市	01/18	01/19	5回	貴重な家屋の倒壊を防ぐ、雪かき	自然体験おおづち村
岡上	神奈川県川崎市	01/25	01/26	4回	里山で茅葺き小屋作り	かわさき自然と共生の会
伊方	愛媛県伊方町	02/27	03/01		人手不足のみかん園で、収穫・整備	喜久家
古座川	和歌山県古座川町	03/13	03/14		大地を見上げる映画祭の運営補佐	大地を見上げる映画祭実行委員会
黒松内	北海道黒松内町	03/22	03/27		自然学校の整備とモニターキャンプ	黒松内ぶなの森自然学校運営協議会
踊場	神奈川県横浜市	03/27	03/29	3回	NICEハウスの庭の手入れ	NICE
小山	東京都東久留米市	05/16	-	2回	児童養護施設で子どもたちと遊ぼう	小山児童学園
小原	福井県勝山市	05/22	-	2回	側溝の落ち葉掃除、草取り、耕作放棄地開墾	小原ECOプロジェクト
最上	山形県最上町	06/05	06/06	2回	平飼い鶏のお世話、田畑で農作業手伝い	最上の荘園
麻生	神奈川県川崎市	06/05	06/06		菜の花の刈り取り、脱穀、選別	かわさきかえるプロジェクト
さいたま	埼玉県さいたま市	06/12	-		無農薬米作りのお手伝い	十色ファーム
日光	栃木県日光市	06/19	06/20		看板作り、草刈、ヤギの世話	せりざわみんなのキャンプ場
市原	広島県呉市	06/19	06/20	5回	草刈り、住民と交流会	市原週末ワークキャンプ実行委員会
真木	長野県小谷村	06/30	07/05	2回	生活共同体で、有機農業や荷揚げ	真木共働学舎
父母ヶ浜	香川県三豊町	07/03	07/04		海岸清掃、有機農業手伝い	ちちぶの会
和束	京都府和束町	07/16	07/21		耕作放棄地になった茶畑再生	ええ〜和茶
宮若	福岡県宮若市	07/17	07/18		植林と竹林の整備	山村塾、こもれびの家
霜里	埼玉県小川町	07/22	07/23		下草刈り、子ども達と交流、校舎整備	霜里学校
北魚目	長崎県新上五島町	07/22	07/27		離島の限界集落で耕作放棄地再生、景観保護	新上五島町役場
黒崎	石川県加賀市	07/23	07/25	3回	海の家で海岸清掃&循環型養鶏の手伝い	山ん中たまご園
大洲	愛媛県大洲市	07/23	07/24		草取り、子ども達とアクティビティ	HUG EARTH
御所	奈良県御所市	07/31	08/01	2回	水田の草取り、野菜の種まき、耕作放棄地の整備	杉浦農園
男木島	香川県高松市	08/01	08/05	2回	島内の環境美化活動	男木島さくら会
赤目	三重県名張市	08/09	08/14	2回	青少年里山探検キャンプの補佐	赤目の里山を育てる会
湯ノ岳	福島県いわき市	08/24	08/26		栗園跡地再生や散策路整備で里山保全	いわきの森に親しむ会
立屋	長野県小谷村	09/21	09/25		共働学舎のメンバー達と有機農業	立屋共働学舎
勝浦	オンライン	10/02	10/03		オンラインフェスの運営補佐	ICHI FES
大井	徳島県阿南市	10/09	10/13	2回	樺(しきみ)収穫最盛期の収穫出荷支援	アサギマダラ広域文化保存会
坂井	福井県坂井町	10/24	-		ゴミ拾い、草刈り、石の移動	Compath
熊野	三重県熊野市	10/30	10/31		集草作業、公民館整備	西山地域まちづくり協議会

* 短期ワークキャンプへの部分参加やプレ・ワークキャンプも含む。複数回開催した場合は、初回の期間のみ記載

* 他にも、NICEハウスでの合宿等、多数類似の活動あり。

<<短期>>

事業名	開催地	開始	終了	人	主なワーク	共催団体
大土1	石川県加賀市	02/03	02/09	3	伝統建築保全地区での雪かき、文化交流	自然体験おおづち村
大土3	石川県加賀市	02/11	02/17	1	伝統建築保全地区での雪かき、文化交流	自然体験おおづち村
LM伊方	愛媛県伊方町	02/16	03/14	1	過疎化の進む地域で、柑橘農家手伝い	喜久家
湯ノ岳1	福島県いわき市	02/23	03/04	7	栗園跡地再生や散策路整備で、里山保全	いわきの森に親しむ会
伊方	愛媛県伊方町	02/27	03/17	4	人手不足のみかん園で、収穫・整備	喜久家
えらぶ	鹿児島県和泊町	03/01	03/14	9	離島で人手不足の農家で菊収穫・出荷	長田農園
赤目1	三重県名張市	03/08	03/18	7	ナショナルトラストの里山整備	VYA.赤目の里山を育てる会
大土2	石川県加賀市	03/19	03/25	6	子ども英語キャンプを運営。農作業	自然体験おおづち村
御所1	奈良県御所市	03/22	03/28	11	耕作放棄地の手入れ、有機農業手伝い	杉浦農園
鴨島1	徳島県鴨島町	03/22	03/31	4	複合型で児童館の運営補佐、児童と交流	吉野川市立鴨島児童館
白神1	青森県鮎ヶ沢町	04/28	05/04	4	世界自然遺産・白神山地のブナ林保護	白神山地を守る会
白神2	青森県平内町	06/18	06/28	3	世界遺産や帆立を守る、植樹祭手伝い	白神山地を守る会
真木1	長野県小谷村	06/30	07/11	2	生活共同体で、有機農業や荷揚げ	共働学舎・真木農場
勝山1	福井県勝山市	07/22	07/28	12	古民家や耕作放棄地の再生、薪割り	小原ECOプロジェクト。勝山市

白神 3	青森町鯉ヶ沢町	07/31	08/09	5	子ども自然キャンプの運営補佐	白神山地を守る会
男木島	香川県高松市	08/01	08/07	3	島内の環境整備、地域の活性化	びざん大学
御所 2	奈良県御所市	08/01	08/10	3	耕作放棄地の手入れ、有機農業手伝い	杉浦農園
今庄	福井県南越前町	08/04	08/13	1	小菊の収穫と出荷。菊を使った観光発案	ぶらすたいむず
栃木	栃木県益子町	08/05	08/14	8	荒れた里山や森整備、自然イベント運営	トチギ環境未来基地
大井 2	徳島県阿南市	08/06	08/13	7	遍路の周辺集落で農業支援、集落再生	アサギマダラ広域文化保存会
徳島	徳島県徳島市	08/08	08/21	7	阿波踊り遊覧船の運行サポート	びざん大学
赤目 2	三重県名張市	08/09	08/19	3	里山整備と子どもキャンプ運営手伝い	赤目の里山を育てる会
鴨島 2	徳島県鴨島町	08/15	08/28	3	児童館で、オンライン企画や子どもと遊び	吉野川市立鴨島児童館
大土 4	石川県加賀市	08/17	08/30	5	限界集落で耕作放棄地再生、棚田整備	自然体験おおづち村
真木 2	長野県小谷村	08/19	08/25	4	生活共同体で、有機農業や荷揚げ	共働学舎・真木農場
湯ノ岳 2	福島県いわき市	08/24	09/02	7	栗園跡地再生や散策路整備で、里山保全	いわきの森に親しむ会
西和賀	岩手県西和賀町	08/24	09/02	4	耕作放棄地や小川の整備、高齢者と交流	大野集落営農組合
大土 5	石川県加賀市	09/02	09/15	6	農作業、稲刈り、冬支度	自然体験おおづち村
真木 4	長野県小谷村	09/13	09/19	2	生活共同体で、有機農業や茅葺き修理	共働学舎・真木農場
LM 伊方	愛媛県伊方町	12/07	12/31	1	過疎化の進む地域で、柑橘農家手伝い	喜久家
鴨島 3	徳島県鴨島町	12/15	12/29	1	児童館で、X マス補佐やオンライン企画	吉野川市立鴨島児童館
大井 6	徳島県阿南市	12/22	12/29	4	遍路の周辺集落で農業支援、集落再生	アサギマダラ広域文化保存会

《中長期》

開催地	開始	終了	事	人	主なワーク	共催団体
北海道函館市	10/04	11/23	1	1	函館の農園を中心に、カラフルな活動	大沼マイルストーン 22
岩手県西和賀町	10/01	11/03	1	1	地域の環境活動を始めとする諸活動等	大野集落営農組合
福島県いわき市	01/05	03/25	1	2	栗園跡地の再生や歩道整備で、里山保全	いわきの森に親しむ会
石川県加賀市	01/05	03/25	1	1	住民 1 名の集落で、雪かきや竹の間伐	自然体験おおづち村
福井県勝山市	05/11	06/15	1	1	住民 1 名の集落で、田畑や家の再生	小原 ECO プロジェクト
福井県南越前町	10/25	11/30	1	1	つるし柿づくりに関わる加工や広報	ぶらすたいむず
長野県小谷村	06/01	11/30	1	1	生活共同体で、有機農業や荷揚げ	共働学舎真木
三重県名張市	01/05	03/25	2	3	里山保全。キクラゲ栽培や養鶏補佐も	赤目の里を育てる会
愛媛県伊方町	08/16	09/17	2	2	過疎化の進む地域で、柑橘農家手伝い	喜久家
愛媛県今治市	09/23	10/31	1	1	保育園に通う主に 0~3 歳児の世話	愛児園マミーランド
徳島県西部地方	01/25	02/25	1	2	農作業。高齢者のお手伝い。集落支援	びざん大学
徳島県徳島市	01/13	03/20	2	2	小学校や幼稚園での国際文化交流を補佐	びざん大学
福岡県八女市	05/12	07/16	2	2	耕作放棄地の進む伝統的な棚田で米作り	山村塾

* 事：事業数（同じ場所でも時期が違えば別事業扱い） 人：参加者数

* 開始・終了は複数事業（複数期間）で行った場合は、一番早かったもののみ記載。

* 中長期ボランティアとして募集・活動開始したが、結果として 29 日間以下になった場合は短期に含む。

《幾つかのプロジェクトを紹介！》

新規開催①香川県男木島

8月に短期初開催！NICEの学生メンバーが開拓。過疎高齢化が進行し耕作放棄地や空き家の割合が増えている離島で、島内の環境整備や島の活性化を目指したアイデアづくりを行った。



新規開催②埼玉県さいたま市

6月に初開催！NICEの経験者が立ち上げた無農薬農場でお手伝い。都心からも近い見沼田んぼに18人(家族での参加は5家族)が集い、泥んこになって雑草取りを行った。



踊場（NICEハウス）で 研修開催！今後も大活用！

2月に全国事務局を横浜市踊場に移転。事務所兼研修施設としても活用。写真はほらいやー24期事前研修。夕食の一コマ。



2-4) 2030年の5大目標と、2022年のステップ

＜超短期・週末＞

2030年の目標	22年の目標
① 事業の量的拡大 全県で定期開催。500回に6,000人(外国人200)参加	週末・超短期・部分参加・研修、計150事業開催
② ボランティアの多様化 親子・シニア参加が一般化し、少子高齢化する中で子どもも高齢者も元気な世の中へ！	親子週末を5事業開催！
③ 普及 週末 workcamp 雑誌が人気！週末ワークが普通の世の中に。	新規開催を6ヶ所開拓！

＜短期＞

2030年の目標	22年の目標
① (開催地域・国の拡大) 国内：全国8割(38都道府県)で開催 / 海外：未開拓5ヶ国で新規開催	60事業開催、日本人・外国人が各240人参加。 新飛躍事業と共に開拓。過去・週末共催にも営業
② (参加者の多様化) A. 親子・シニア・中高生の参加者の増加 B. 在日外国人・社会的不利な方の参加推進。	A. 親子30名、中高生20名、シニア5名に増加。 B. 在日外国人20名が参加。
③ (事業の多様化) A. 未リーチ分野・テーマの事業開拓 B. 専門性を生かした事業の実施	教育福祉事業を開拓。特に本当に困っている子ども、お年寄り、女性、低所得者等の力になれる活動開拓
④ (過去参加者の巻き込み) 各事業の縦のつながりづくり。応援人制度で事業の安定化！	SNS/OLの活用等で事業毎のコミュニティの活性化を図る。経験者100人が寄付やイベント参加。
⑤ (成果のまとめ・発信) 各事業の活動報告の充実化！報告会+新規開催説明会の連動	一覧表から全事業の報告・寄付募集を紹介。 リーダー提出物・参加者アンケートの活用。

＜中長期＞

2030年の目標	22年の目標
① グローバルな社会課題(貧困、気候変動、難民等)やローカルな社会課題(教育の格差、人口流出等)の解決に強く寄与する。	1. 中長期専門職ワークキャンプを全国15ヶ所で展開
	2. 地方オフィス→共催型・独自運営型のモデル作り
	3. 3ヶ月間以上の長期ボランティア・ピザを創設
	4. 活動実績の積み上げと1,000プログラムの紹介！
② 社会課題解決の人材輩出	25事業開催、日本人25人・外国人5人が参加。 地域おこし協力隊や徳島センターとの連携等で開拓。
	戸塚・富田林で模索
③ 多様なボランティアの参画・推進(障がい者・経済的不利・意思疎通が苦手な人も参画できる社会の実現)	国内IVS団体の協力網作り(団体を選定)
	GLMTVで、事業増に向け他団体と議論。
② 社会課題解決の人材輩出	国内参加者の運営チームを発足・運用
	国内で地域グローバルインターンを広げる。他事業との連動で、相乗効果を図る。
③ 多様なボランティアの参画・推進(障がい者・経済的不利・意思疎通が苦手な人も参画できる社会の実現)	参加応援制度の利用者を募る！アプローチ先選定。

3 章) 主幹事業 2 海外ワークキャンプ

(週末 : 1-3 日間、超短期 : 4-6 日間、短期 : 7-31 日間、中長期 : 32-365 日間)

3-1) 2021 年の 3 大ニュース

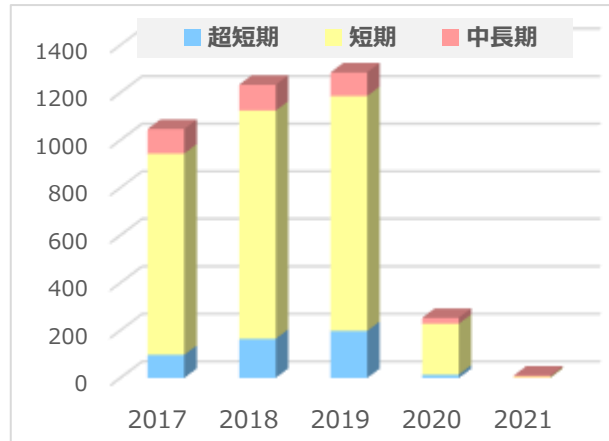
[目次に戻る](#)

- ① コロナ禍が続き、参加者数は 19 年 1,316 人→20 年 258 人→21 年 10 人に激減。
- ② 8 月に 1 年半ぶりに派遣再開！年間 10 人中、6 ヶ月以上の長期が 4 人（うち 3 人は英仏で 1 年間）。
- ③ 海外主催事業は、1992 年以來のゼロに。9 月にエストニアで企画も集まらず中止。

3-2) 参加者数の推移

	2017	2018	2019	2020	2021
超短期	97	165	198	14	0
短期	847	960	988	214	5
中長期	103	108	99	25	5
海外計	1047	1233	1285	253	10

- * 一般事業（個人参加）とグループ・ワークキャンプ、主催事業と派遣事業を区別せず、総計のみ。
 * 1-2 の表では含めたオンライン事業（超短期）とぼらいやー（中長期）をここでは含めなかったため、数字が若干異なる。



3-3) 参加ボランティア・受入団体から

K さん（神奈川在住・女性・大学生。ドイツで 8/7-22 に参加）

- ワーク内容：ベルリン市内を回って産業化を学び、博物館で修復や小さな展示物の製作
「ワークキャンプ、本当に最高の時間を過ごせました。お力添えありがとうございました。」

S さん（東京在住・女性・大学生。エストニアで 8/6-13, 8/15-22 に連続参加）の受入団体

- ワーク内容：8-17 歳キャンプの運営手伝い
「She is very much satisfied and asked me already whether it is possible to come to Estonia again next year. Her English is quite good and seem to be quite confident, especially after the camp.」

3-4) 2030 年の 5 大目標と、2022 年のステップ

2030 年の目標	22 年の目標
① 50 ヶ国で年 2,000 人（過去最多は 1,316）が活躍！未開催の 5 ヶ国で開拓し、年 200 事業（同 141）開催。	コロナ次第だが、25 事業を企画し、125 人参加。それ以外に、短期 91 人+長期 30 人を海外派遣。
② 案内の充実等で事業と参加者の質を高め、受入側の参加者評価も参加者側の受入評価も 5 点満点で 4 以上に。	国別 LINE グループに短期参加者も加え、案内を充実。交換団体間の参加者評価スキームを確立。
③ 地域・社会への成果の測定・集約・発信・向上に努め、NICE 版 SDGs 達成への力創出を 2025 年の 3 倍にする。	過去数年間の報告書・レポート等から NICE 版 SDGs への成果を集め、動画やマンガで発信。
④ 本人の成長への成果の測定・集約・発信・向上に努め、高校生・親子・シニア・障がい者等、参加層を多様化。	過去数年間の成長の成果を集計し、動画やマンガで発信。インド・エストニアで高校生事業を共催。
⑤ 森林保全・難民応援・貧困撲滅等でアジアを中心に、10 ヶ所に NICE 特別職員を置いて、カラヘル村に発展。	カンボジア TFC・ベトナム ESA・インドネシア Pek・タイ Koh Scorn・エストニア Kiidi で重点活動。

コロナ禍を超えて!海外ボランティア・レポート

2020年4月から停止していた、海外へのボランティア派遣。この夏からそろり再開し、8~10月にイギリス、ドイツ、フランス、エストニア、タイで9名が短期・中長期の活動に参加!今回は、現在もタイで活動中の重森理香子さんから届いた現地からの報告をご紹介します☆(編集:NICE 海外事業担当 開澤)



右がりかこさん。
一緒に活動している
スイス人の Lara、
DaLaa 職員の 2 人
と一緒に

活動団体・活動地はどんな感じ?

南部を拠点とする NGO・DaLaa で9月から活動しています。DALAA は人々や活動の支援、交流、文化や自然保護を通じ、不遇な人々の環境を改善し、社会発展に寄与することを目指しています。

私の活動先は南部のトラン県で持続可能な有機農業に取り組む、Yod Rak 有機農場です。農園主は有機農家のネットワークのために様々な作物を栽培したり、green market を毎週主催しています。それらを通じて、有機農業や持続可能な生活を学び、相互の異文化理解を深めています。



DALAA でのイベント



金曜マーケットの様子

毎日の活動は、どんなことを?

金曜と土曜の午前中は、作ったお菓子や畑で育てた野菜、知り合いから仕入れた有機作物をマーケットで販売します。他の曜日や午後は農作業をしたり、知り合いの家でお菓子を作ったり、近所の子どもに英語を教えたりと様々な体験をさせて頂いています。中でも私が一番好きなのは、マーケットや近所のお店で他の売り手の方やお客さんとお話をして、様々な商品を試食してみたり、タイオリジナルの商品を紹介してもらうことです。

大学で東南アジア大陸部を専門的に学んでいますが、初めて見たり聞いたりするものやことばかりで毎日が新しい発見と驚きの連続です。

活動地の魅力は何でしょう?

道端に生ったココナツやパパイヤを落ちていた木の枝を使って採ってその場で食べたり、かまどに火を起こして料理を作ったり、紐やお箸など足りない資材を自然界から調達したりと、自然と共に毎日を生きる、貴重な体験ができています。

また、周りの人達は私がヘマしても決して怒らず、笑って許してくれたり、拙いタイ語で少し話すだけで褒めてくれたりと、優しさと寛大さで溢れています。そんな彼らと時間を過ごすことにより、大抵のことはなんとかなると、以前よりも物事を楽観的に考えられるようになりました(笑)



採った竹で流しそ
うめんの台とお箸を
作っている様子



畑で採れた、
有機さつまいも

これからやりたいこと!

タイの新型コロナウイルスの感染状況は未だに厳しく、まだまだマスク越しでの交流がほとんどですが、外国人という存在が珍しいこの地で、外部の人間だからこそできることを考え、積極的に現地の方と交流して相互の理解を深めたいです。

そして、お世話になっている人々への感謝の気持ちを忘れずに、一日一日を大切に活動をしていきたいです。

(季刊誌「NICE プレス」2021年11月号より)

4章) 主幹事業3 オンライン・ワークキャンプ

4-1) 2021年の3大ニュース

[目次に戻る](#)

- ① オンライン・国際ワークキャンプを初開催！長年対面事業で強固に連携していた3ヶ所で実施。
- ② ベトナムのスラム生活向上、カンボジアとインドネシアのマングローブ保全に新しい力を創出！
- ③ この事業の特別職員に理事の山口（+韓国専門で元理事の吉本）が就き、企画体制を強化。

4-2) 開催事業一覧

環境 農業 開発 文化 教育 福祉

相手国	開始	終了	主な内容	共催団体
韓国等	02/16	02/26	アジアの高校生達が、生活や文化を相互紹介	International Workcamp Organization
ベトナム	03/05	03/07	水上スラムの現状を学び、エコたわしを販売	Solidarity Jeunesse Vietnam
カンボジア	03/09	03/21	マングローブ林の現状を学び、行動を企画	Cambodia Youth Action
韓国等	05/20	06/10	アジアの高校生達が、生活や文化を相互紹介	International Workcamp Organization
インドネシア	07/03	07/27	マングローブ林の現状を学び、催しを企画	GREAT
韓国・中国	08/25	08/28	日中韓の学生達が、交流やディスカッション	International Workcamp Organization
韓国等	12/06	12/09	アジアの高校生達が、生活や文化を相互紹介	International Workcamp Organization

* 韓国のIWOが主催し、NICEから日本人を「派遣」した交流・学習型の4事業を含む。

4-3) 例えば、こんなシーンもありました。



初日はSJV職員・Namが現地からの中継で水上スラムの今を伝え、アンさんの揚げ春巻き作り教室も🍣
日本側も何人か材料を用意して一緒にクッキング。我が家でも妻子を巻き込んで作ったら、大騒ぎの末、できあがった春巻きは絶品でした。

日本の文化紹介。ベトナムと日本のビールの違いを図を書いて真面目に語ったり、みんなでMake you happyを踊ったり。最後は二ヨッキやNANDEゲームで盛り上がりました☆



最年少13歳のMちゃん（日本）は1日だけの予定が、登録し直して3日間全参加！
カンボジアのBanhaは10年前・中学生の時、「日本から来たボランティア」に感動し、大学生になってからはリーダーとして活躍中。



4-4) 2022年の目標（今年から新設された章のため、2030年目標はまだなし）

- ① 10事業を企画して、日本人・外国人100人ずつが参加。学びや現地に寄与する成果を沢山生み出す。
- ② もっと多様な地域（日本国内、アフリカ、欧州等）、分野（集落再生、難民、子ども等）で企画する。
- ③ 特定の大学・企業と企画するグループ型事業、数ヶ月間も取り組む長期事業等、色々な形を試行する。
- ④ 企画してみたいワークキャンプ経験者を募り、主体的に企画・運営してもらって、実施体制を広げる。
- ⑤ 韓国・香港・欧州等の団体が主催する交流・学習型事業にも、日本人参加者を増やし、連携を強める。

オンライン・ワークキャンプ報告「未体験がてんこもり！」

完全リモートのインドネシアワークキャンプ PEKALONGAN WEB CAMP

各日程のテーマ

7/03 (土) 13:00-15:00	なぜ今、マングローブを守らなければならないのか
7/06 (火) 20:00-22:00	PEKALONGAN における若者の意識改革とボランティア活動
7/13 (火) 同	NICE-GREAT によるマングローブのワークキャンプの成果と課題
7/20 (火) 同	マングローブ・ユース・サミット
7/27 (火) 同	これからのわたしたちの環境活動



カバー画像。いつまでも残したいマングローブの森

リモート化が進み、Zoom 等を使用したオンライン会議や講義も一般的になってきました。しかし、パソコンの前に座ったまま、話をするだけでは、私たちが大切にしてきた「ワークキャンプ」を再現出来ません。

そこで、3組に分かれて「ワーク」として、①『マングローブ・ユース・サミット』の企画・運営、②文化交流企画の企画・運営、③共催団体 GREAT の実施している寄付キャンペーン『Mangrove For Java To Stop Climate Change Project』の広報 PR プロジェクトとして、メッセージ動画の制作に取り組みました。



7/20 のマングローブ・ユース・サミットの MC に立候補したのは現役中学生の伊藤くん

オンラインツールを使用したワークショップも実施。



また、「キャンプ」=共同生活や、相互理解をどのようにオンラインで展開できるか悩ましいところはありませんでしたが、スピンオフ企画で自発的に集まり準備会を行ったり、雑談お茶会を行ったり、といった形でメンバー同士の絆がかけがえのないものになりました。

今回の企画の目玉、「文化体験ボックス」には、GREAT の現地職員・Ogi が準備してくれた、①マングローブクラッカー、②生姜飴、③紅茶、④FreshCare (リフレッシュメントのアロマオイル)、⑤パティック染めのマスクが入っていました。生姜飴はスパシーな風味で、インドネシアに行った気分を味わうことが出来ました。

日本からも選りすぐりの品物を送ったのですが、スナック「うまい棒」は沢山の種類を入れていたため、納豆味を受け取ったインドネシアメンバーが果たして美味しく食べてくれたかどうか、ちょっぴり心配しています。

「文化体験ボックス」をオープン♪あなたはマングローブクラッカー食べてみたい？



今回、日本からは中学生から社会人までと幅広く集まりましたが、意気投合をして、三ヶ月後、半年後にはまた同窓会企画をしようと早くも盛り上がっています。



最終回の集合写真。連絡を取り合って、メッセージ動画を完成させる予定！

参加者の声

インドネシアの文化について知るだけでなく、実際にものが送られてきて触れるというのが新鮮で楽しかったです。

また、紹介してもらった名所の中で、実際に行ってみたくところもありました。

インドネシアに対する理解が深まり、とても有意義な時間だと感じました。

最終回の広報戦略やメッセージを考える時間では、自分なりに今回学んだことも交えつつ、最近勉強していた PR についてのアウトプットができたため、この経験を今後にも生かせそうです。

(季刊誌「NICE プレス」2021 年 8 月号より。一部削除)

5章) 主幹事業4 グループ・ワークキャンプ

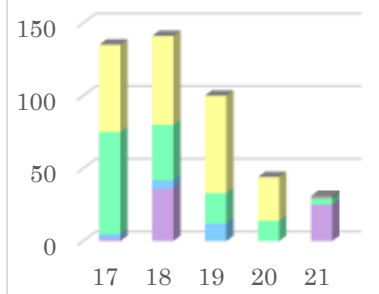
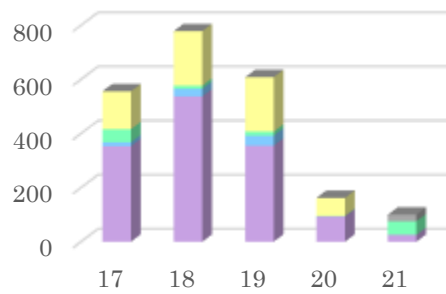
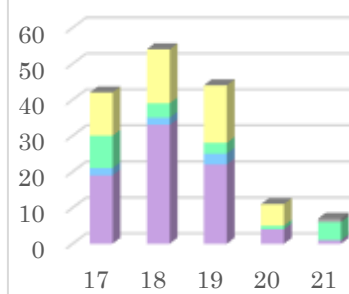
5-1) 2021年の5大ニュース

[目次に戻る](#)

- ① コロナ禍で事業 36%減 (国内 120%増・海外 100%減)。緊急事態宣言でドタキャンが多数発生。
- ② 日本人 14%減 (国内 21%減・海外 100%減)・外国人 30%減 (国内 107%増・海外 100%減)。
- ③ 企業とのオンライン事業を初開催!
- ④ グループ・ワークキャンプを続けて培った信頼関係が実を結び、シチズンと「Eco Tree Action」開始
- ⑤ 担当職員を太宰から井口へ交代。

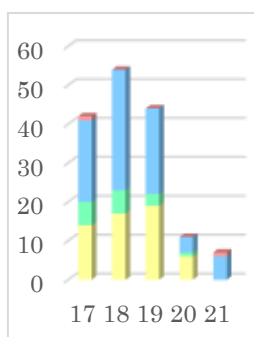
5-2) 全体の各種統計 (事業数・参加者数・事業種比・セクター比)

	事業数					日本人					外国人				
	17	18	19	20	21	17	18	19	20	21	17	18	19	20	21
超短期国内	19	33	22	4	1	353	537	355	94	25	2	36	0	0	25
超短期海外	2	2	3	0	0	15	28	37	0	0	3	6	12	0	0
短期国内	9	4	3	1	5	48	12	15	1	50	70	38	21	14	4
短期海外	12	15	16	6	0	140	187	201	67	0	60	61	67	30	0
オンライン	0	0	0	0	1	0	0	0	0	65	0	0	0	0	2
(計)	42	54	44	11	7	556	764	608	162	140	135	141	100	44	31



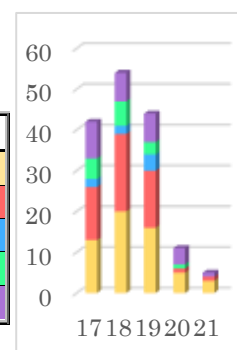
< 種類別の事業数 >

年	17	18	19	20	21
海外派遣	14	17	19	6	0
国内受入	6	6	3	1	0
国内宿泊	21	31	22	4	6
単日	1	0	0	0	1



< セクター別の事業数 >

年	17	18	19	20	21
学校・ゼミ	13	20	16	5	3
企業	13	19	14	1	1
行政・NPO	2	2	4	0	0
海外受入	5	6	3	1	0
サークル	9	7	7	4	1



5-3) 開催事業一覧

開催地	開始	終了	主なワーク	共催団体 (派遣/受入団体)
大阪府富田林市	03/15	03/26	間伐、里山保全作業	神戸大学/富田林の自然を守る会
福島県いわき市	08/08	08/21	遊歩道整備、下草刈り	名古屋商科大学/いわきの森に親しむ会
奈良県御所市	08/14	08/23	無農薬農業手伝い	名古屋商科大学/杉浦農園
徳島県徳島市	08/30	09/05	花ロード整備	西南学院大学 Think&Act/びざん大学
大阪府富田林市	09/02	09/11	間伐、里山保全作業	名古屋商科大学/富田林の自然を守る会
オンライン	10/29	-	里山保全、無農薬農業の学習	ServiceNow/トチギ環境未来基地
愛知県豊田市	11/13	11/14	外国にルーツの子どもと交流	愛知淑徳大学小島ゼミ/トルシーダ

5-4) 幾つかの事業を紹介!



<名古屋商科大学との連携>

- 開催場所：福島県いわき市, 奈良県御所市, 大阪府富田林市
 - 開催期間：08/08-21, 08/14-23, 09/02-11
- 日本人学生×留学生による初開催の事業。夏に3事業を実施。コロナ禍で個人ボランティアが集まりにくい中、まとまった人数が地域に入って成果大。

<にじいろキャンプ>

- 開催場所：愛知県豊田市 ●開催期間：11/13-14
 - 活動内容：外国にルーツの子ども達と交流 ●受入団体：トルシーダ
 - 派遣団体：愛知淑徳大学小島ゼミ3年生
- 外国にルーツのある子ども達と、愛知淑徳大学小島ゼミの交流事業。言葉や経済面など様々な問題で学校に馴染めず、不登校になったり、心を閉ざしがちな子ども達に自信を与え、生活意欲を高めることが目的。



<ServiceNow : 初開催! >

- 開催場所：オンライン
 - 開催期間：10/29
 - 活動内容：里山保全、無農薬農業の学習
 - 受入団体：トチギ環境未来基地
- 総勢67名が参加。元々は現地での作業希望もコロナで断念。今年はオンライン勉強会+希望者はプランターで芋栽培を実践。来年に現地で作業を実施予定。

5-5) 2030年の5大目標と、2021年のステップ

2030年の目標	21年の目標
① 事業の質と量 ：各セクターの社会貢献活動への参画増加。年間100事業。参加者の質の向上&受入基盤の強化で地域貢献度・参加満足度の向上	コロナの状況を見ながら、各セクターと連絡を取り合い、実施に向けて進めていく。 開催地に滞在しながら仕事をし、数時間ボランティアするプログラムも模索。
② 派遣団体の多様化 ：社会的に脆弱な人々がワークキャンプを通して社会に根をおろし、守られる存在ではなく社会を創る主体に(年間4事業)	引きこもり(新規)に実施に向けての可能性を探る。
③ 海外からの受入 ：行政・企業連携で経済的に不利な立場の外国人招聘事業を実施。グローバルな機会格差を是正(年間4事業)	入国可能になれば積極的に受入実施。

6章) 主幹事業5 寄付プロジェクト

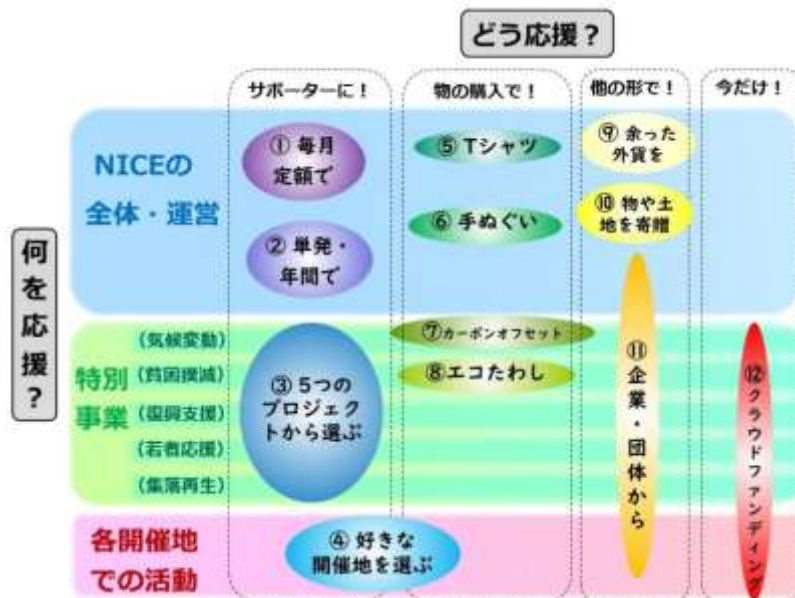
* NICE 全体への寄付は、8章) 財務・決算の範囲だが、事業と混ざることも多いためここに含める。

6-1) 2021年の5大ニュース

[目次に戻る](#)

- ① クラウド・ファンディングを2回行った昨年を超える、584万円を454人+3社から頂いた。
- ② 三菱UFJ銀行、シチズン時計、ジョンソン・エンド・ジョンソン等、企業との寄付事業が大発展。
- ③ マンスリー・サポーターで里山・集落再生の特別キャンペーンを行い、105人から新たに寄付。
- ④ オンライン・ワークキャンプを通じた、新しい形での寄付事業も3ヶ国と開始。
- ⑤ 寄付事業戦略と過去7年間の実績表を作成。認定NPOに申請することを正式に決定。

6-2) 一目で分かる！NICEの寄付全体像

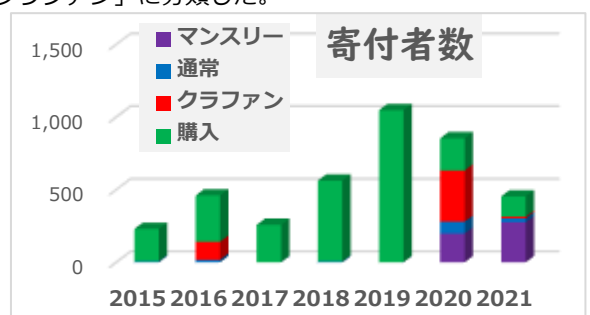
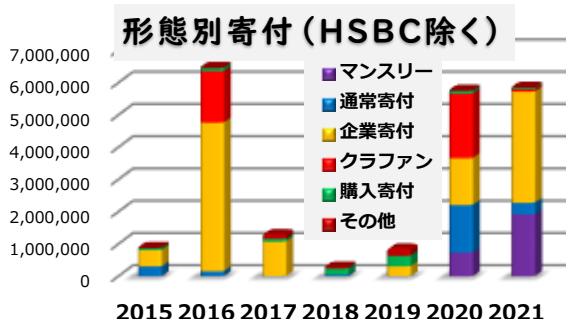


6-3) 過去7年間の寄付実績

年	人数	総額	マンスリー	通常寄付	企業寄付	クラファン	購入寄付	その他
2015	231	873,515	-	306,420	500,000	0	67,095	0
2016	461	6,458,734	-	154,000	4,612,641	1,593,000	99,093	0
2017	259	1,320,577	-	10,000	1,064,500	0	85,979	160,098
2018	563	290,401	-	56,000	0	0	184,380	50,021
2019	1,048	887,541	-	10,000	300,000	0	325,512	252,029
2020	855	5,750,190	734,054	1,477,432	1,450,000	2,003,580	84,124	1,000
2021	454	5,840,564	1,919,050	361,436	3,445,700	70,500	43,878	0

* 2018年まで大部分を占めていたHSBCからの分は、他の寄付実績が見えにくくなるため除いてある。

* 2021年のオンライン・ワークキャンプを通じた寄付は便宜上、「クラファン」に分類した。



6-4) 幾つかの事業を紹介！



<マンスリー・サポーターズ>

運営チームを中心に、7-8月に特別キャンペーン「**限界集落と里山を未来へつなぐ！**」を実施。105人を新規獲得で目標達成！年間では277人から1,919,050円を頂いた。



<三菱UFJ銀行>

昨年の4事業に続き、9事業でNICEや共催団体を支援。

- | | |
|-----------------|-------------|
| ①大土（石川県加賀市） | 自然体験おおづち村 |
| ②岡上（神奈川県川崎市） | かわさき自然と共生の会 |
| ③湯ノ岳（福島県いわき市） | いわきの森に親しむ会 |
| ④今庄（福井県南越前町） | ぶらすたいむず |
| ⑤富田林（大阪府富田林市） | 富田林の自然を守る会 |
| ⑥インドネシア（Online） | NICE |
| ⑦白神山地（青森県鱒ヶ沢町） | 白神山地を守る会 |
| ⑧志木（埼玉県志木市） | 志木国際交流会 |
| ⑨東尋坊（福井県坂井市） | Compath |

<Eco Tree ACTION> [News](#)

カンボジアでマングローブ林を再生するグループ・ワークキャンプを3年間共催してきたシズン時計。腕時計購入時、ボックス不要を選択すると、NICEを通じてカンボジアのマングローブの苗1本を寄付される仕組み。5月までの第1期分で、21,340本の植樹が既に実行！



6-5) 2022年の目標（今年から新設された章のため、2030年目標はまだなし）

- ① **個人寄付**：事業別サポーターを国内・海外各5ヶ所で始め、日本人・外国人の経験者等、50人の寄付者。マンスリー・サポーターも400人を目指し、上記の事業別とうまく連携して、会員以外にも働きかける。
- ② **企業寄付**：今年の3社を含む5社から、計320万円を目指す。Eco Tree ACTIONをモデルに、他社へ「1個売れたら、●●」式の寄付付販売を提案する（例：難民の子どもへの給食）。
- ③ **基盤整備**：認定NPOを申請し、認証を目指す。寄付専門の職員を採用し、営業・広報を格段にUPする。月例報告を始め、離脱者を減らす。Webを大改訂し、開催一覧表に「参加」「寄付」「報告」を表示する。
- ④ **物品寄付**：空き家（山村は特別職員や長期ボラが住み、都会は会員が集う地方事務局に）・森・畑を募集。大阪府富田林市での家屋活用を始め、山村の古民家・森・畑もまずは集落再生職員がお借りする形で整備。
- ⑤ **国際協力**：Global Givingでの常設権（40人から55万円必要）を獲得し、寄付獲得口座も本格的に開始。NVDAに加盟する29団体のうち、5団体が計5,000USDを獲得することを目指す。

< 寄付事業を発展させる目的と目指す方向性 >

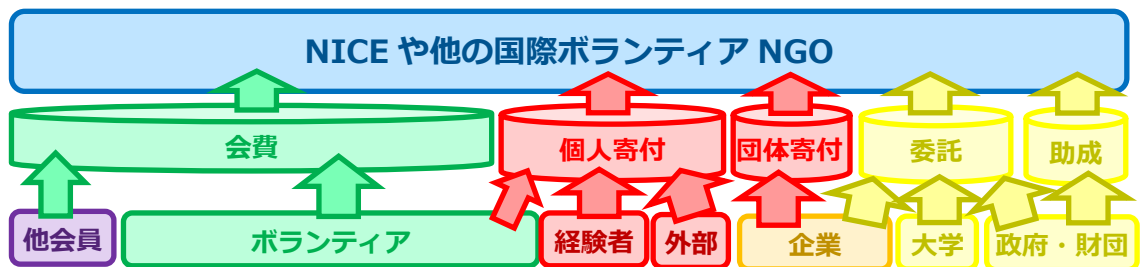
2-1. 各地の活動に新種の成果を創出して、カラフルでヘルシーな世の中を切り開く。

従来のボランティアが来ることによる様々な効果に加え、**お金の面でも地域の取り組みに新たな力を生み出す**。ただし、寄付の**必要性・志向**や寄付者が納得できる計画、成果・決算報告ができる**覚悟・実力を有する所に限る**。**ボランティアが往来してモニター、メッセンジャーとしての役割も果たし、他の寄付事業にない強みになり得る**。



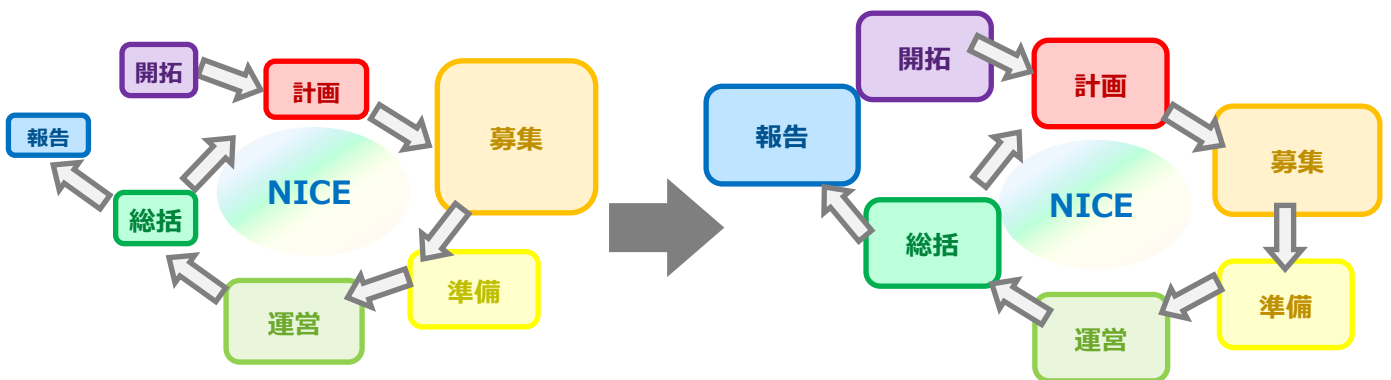
2-2. NICE と提携団体の収入源を多角化・強化し、運営を安定かつ持続可能にする。

ボランティア活動は今度も本業であり続けるが、**急減しても団体を維持できる第2の柱**を育てる必要がある。2ヶ国事業の共催団体や NVDA を通じて**世界の寄付集めも推め**、国際ボランティア界のレジリエンスを高める。時限的な大型・団体寄付も活用しつつ、**恒常的な大勢の個人寄付を中心とする**。収入が維持費を大幅に上回る。



2-3. 成果発信の向上で参加者獲得にも寄与し、協力相手を広げ、関わりを長くする。

寄付獲得・維持のために、計画・報告の内容・頻度を充実させれば、**参加や事業提携の獲得にも好影響**が出る。計画・募集を急いで多くの力を割く余り、総括・報告が疎かになりがちな**事業サイクルと広報の適正化**にもなる。また参加は難しい人も関わる場が生まれ、**特に参加経験者と新たなつながり**を生み、他の連携に発展する芽にも。



参考資料と考察

CAF World Giving Index 2021 より

Country	Charity		Volunteering		Helping someone in need		Total	
	Ranking	Score	Ranking	Score	Ranking	Score	Ranking	Score
Indonesia	1	69%	26	65%	1	83%	1	60%
Kenya	2	58%	6	76%	13	49%	3	49%
Nigeria	3	52%	1	82%	46	33%	4	42%
Myanmar	4	51%	76	51%	2	71%	13	31%
Australia	5	49%	56	57%	3	61%	14	30%
Republic of Korea	110	22%	112	29%	59	28%	100	10%
Italy	111	22%	108	33%	80	23%	103	9%
Belgium	112	21%	113	25%	79	23%	69	15%
Portugal	113	20%	104	37%	106	13%	102	10%
Japan	114	12%	114	12%	107	12%	91	12%

これによると日本は114ヶ国の中で、「総合」と「見知らぬ人を助ける」がダントツの最下位、寄付者も12%で107位、ボランティア活動者は12%で91位。

ちなみに寄付上位は①インドネシア83%（総合も1位）、②ミャンマー71%、③豪州61%、最下位はモロッコ3%。

2020年はコロナ禍の中、寄付が前年より3%増の31%、ボランティアも前年と同じ19%だった。

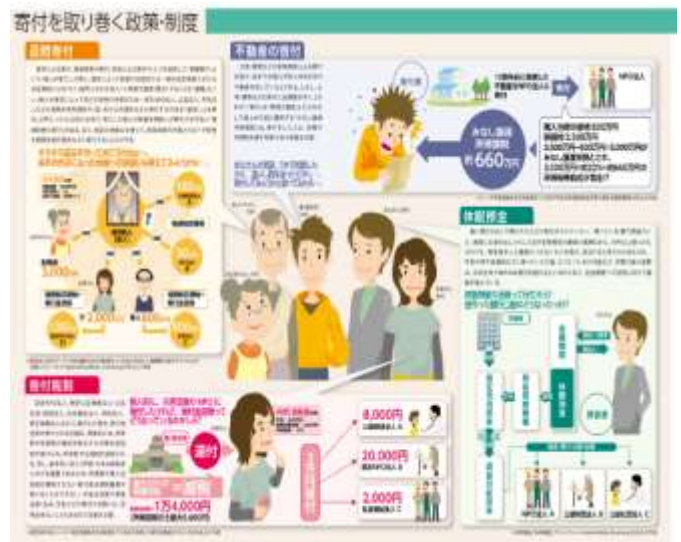
あくまで一つの統計だし、様々な社会制度・慣習が絡んだものなので（例：寺への寄付が当たり前とか）、これだけで物事を断定できないが、例えば以下のことが言えるのではないかな。

- A. アジアやアフリカの提携団体も、本国での寄付集めを諦める必要はなく、コロナ禍や将来の他の緊急事態で国際ボランティアを受入できなくても維持できるよう、（補助金もない中）寄付事業に力を入れる意義はあるのでは。
- B. NICEもターゲットを日本人に限定する必要はなく、過去日本での活動に参加した外国人を最有力としながら、世界から寄付を獲得する潜在的可能性も結構あるのでは（日本の他の団体にはなかなかできないこととして）。

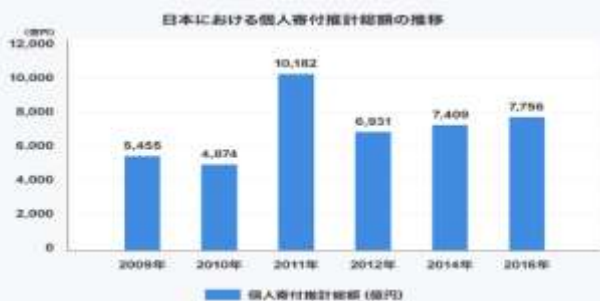
（日本ファンドレイジング協会 寄付白書 2017 より）

次に日本国内の寄付は、先述の通り国際比較では底辺にありながら、2009年→2016年に1.5倍に増えており、クラファンや（これは微妙だが）ふるさと納税の隆盛、高齢化に伴う遺贈寄付や休眠預金の増大等の追い風もある。更には現金だけでなく、廃材から大都会まで家屋や田畑の寄贈ニーズが今後、格段に膨れ上がることも予想される。

また2010年の統計だが、個人寄付が8-9割を占める英米に対して、法人寄付が8割を占めるという特徴もある。寄付全体は高齢者が多いが、「新しい公共」へは20歳代16%・40歳代14%・60歳代23%で世代差は小さい。



7年間で約1.5倍に増額！ 日本で寄付が伸びている背景に新型寄付の存在あり - 価格.com マガジン より



- これにNICEに当てはめると、こうも言えるのでは。
- C. クラファンは主に若者、遺贈寄付や物・土地の寄贈は高齢者を対象として、受け皿として準備を進めるべし。
 - D. 会員経験者の関係団体や、グルキャン共催経験のある企業から、法人寄付の獲得にも一層力を入れるべし。
 - E. 返礼に期待する層もつかむため、特産品付の開催地別寄付のテコ入れや、ふるさと納税への参画も狙うべし。

7章) その他の事業・外交

[目次に戻る](#)

7-1) 2021年の3大ニュース

- ①海外：NVDA 代表として加盟団体の生き残りに尽力。2月に総会を行い、「協働生き残り策」を作成！
- ②海外：初の「アジア・オンライン・サミット」を実現。27ヶ国・475人登録で大盛況☆総合評価は91点！
- ③国内：三菱UFJ銀行の寄付事業やシチズンの植林支援等、企業との連携が昨年に続き、発展。

7-2) その他の事業 (2~6章でご紹介したものや7-3以降のNetwork関連以外の活動です。)

< 国土館大学での授業 >

開澤が2002年より、以下を運営。カリキュラムの変更で、②③は今年度で終了。

- ① 国際ボランティア (国内でワークキャンプに実習参加。21年は8人が活動)
- ② ボランティアと社会 (毎週、ゲストの話や討論を行い、冬休みに活動を企画)
- ③ NPOマネジメント (インターン)

< 小中学校・高校での授業 >

杉並国際高校で、3月まで藤原、4月から井口が毎週木曜に実施。オンラインを活用し、様々な海外NGOとも対話を実現。



< エコ・スポンジ・アクション >

洗剤なしで皿などを洗える、アクリルたわしを世界で推進中。2010年からはベトナムのスラム女性支援も合わせた形で展開！日本の祭りや店等で4,679個を売り、寄付と合わせて215万円を創出。

21年もworkcamp中止が続く中、寄付付のオンライン事業を実現。元会員の高校教師は卒業する教え子に配るため、60個も購入！

< ぼらいやー >

春はコロナの影響で申込者ゼロだったが、10月からの24期生に2名参加。年内は国内の中長期、年明けから海外事業に参加予定。研修はNICE全国事務局 (NICEハウス) で開催し、関東在住経験者が集った。



妹のバイト先で大量廃棄されるシュークリームを授業②で紹介した学生。フードロス対策を激論！

< 季刊 NICE プレス >

創設直後から続く、Newsletter (以前は月刊)。団体内の情報共有だけでなく、外部へ社会と国際ボランティア活動の状況・ビジョンを発信する役割を果たし続ける。[2021年夏号はこちら](#)



< イベントの企画・運営 >

2021年はオンラインを中心に40回開催。活動の広報に留まらず、社会に広く現場の姿を伝えたり、協働・交流の場を創ることで、啓発・行動・協力を盛んにする役割も果たしている。



3/27、7人の新型・長期個人ボランティア (J-coin 基金助成) + 受入5地域のリーダーが生出演☆
地域の魅力と課題、活動のドラマと成果を熱く語り、発信した！



7/15、SDGsを超える！カラフル・ボランティア・ナイト (福祉編)。長野とフランスからNPOリーダー達がトーク。代々の参加経験者も加わって、賑やかな夜に☆

7-3) 外交：NICE のネットワークを図解すると



例えば、こんなつながりも！

- マハトマ・ガンディー (インド)
1935年、アジア初の国際ワークキャンプが実現する際、趣旨に賛同して、大きな原動力になった！
- バーニー・サンダース (米国)
過去2回、大統領に近づいた男は若い頃、国際ワークキャンプを愛するアクティブ会員だったらしい。
- ぎよんこ (日本・動物界)
16年前、事務局近くの新宿御苑で拾われ、オフィス猫として大人気！現在も代表宅で、元気に活動中。



7-4) 2021年に企画(黄網)・参加した、主な国際会議

会議名	期間	場所	NICEからは	国/団体/数	主な内容
NVDA 理事会	01/05-12/21 隔週	Online	開澤	05/05/005	組織の再建、活動の企画
NVDA 委員会②	01/06	Online	開澤、藤原	17/21/032	各団体の生き残り戦略共有
NVDA AVV②	01/06	Online	開澤、吉本、林	12/15/030	SDGs 2 食料の事業紹介
NVDA 総会	02/01-02/22	Online	開澤、井口、藤原	20/26/039	1年間の総括・計画
NVDA AVV③	02/05	Online	開澤、吉本、林	07/11/018	SDGs 3 健康の事業紹介
IVS 地球会議	02/17-09/08 に 5 回	Online	開澤	07/07/010	協力網同士の各種連携
CCIVS 戦略作り会議	02/25	Online	開澤	30/40/050	長期戦略の骨子づくり
ALLIANCE 技術会議	03/01-03/04	Online	開澤、井口等 6 名	33/58/112	事業広報。協力推進
NVDA AVV④	03/05	Online	開澤、吉本、林	09/09/023	SDGs 4 教育の事業紹介
ESCAP アジア Forum	03/23-03/26	Online	開澤	??/??/???	SDGs をセクター代表で議論
NVDA AVV④	04/02	Online	開澤、吉本、林	10/12/024	SDGs 5 Gender 事業紹介
NVDA 委員会③	04/07	Online	開澤	05/06/008	生き残り戦略 (助成金獲得)
GLMTV 企画者会議	04/19,05/10	Online	開澤	05/06/008	中長期ボランティアの推進
NVDA 委員会④	05/05	Online	開澤	08/10/013	生き残り戦略 (寄付獲得)
NVDA AVV⑥	05/07	Online	開澤	10/06/017	SDGs 14 海洋の事業紹介
CCIVS アジア相談会	05/13	Online	開澤	05/06/008	長期戦略への意見出し
GLMTV Forum	06/17	Online	開澤	10/10/015	中長期ボランティアの推進
Mangrove Summit	06/22	Online	山口、開澤、他	03/02/060	インドネシアの状況シェア
NVDA AVV⑦	07/07	Online	開澤、倉地	12/11/035	SDGs13 気候の事業紹介
Mangrove Summit 2	07/20	Online	山口、野本等 9 名	??/??/???	インドネシアの状況シェア
NVDA Bar	08/08	Online	開澤	06/07/008	近況をざっくばらんに共有
気候アクション会議	09/07	Online	開澤	05/05/005	協力網の代表者で協働を議論
NVDA AVV⑧	09/10	Online	開澤、吉本等 4 名	12/09/027	SDGs06 水浄化事業紹介
CCIVS INVOLVE 訓練	09/16-09/23	フランス	大塚まゆ奈	10/15/020	難民・移民の社会参画推進
SCI 交換 Platform 会	10/04-10/14	Online	開澤、他	30/40/050	様々な活動の課題を議論
NVDA 24 歳誕生会	10/08	Online	開澤	09/09/010	24 年間の歩みを振り返る
ESCAP 北東アジア会	10/28-10/29	Online	開澤	??/??/???	SDGs をセクター代表で議論
ALLIANCE 総会	11/08-11/10	Online	開澤	30/40/060	1年間の活動を総括・計画
CCIVS #EVOLVE	11/10-11/24 に 6 回	Online	井口	15/20/030	広報戦略の共有、活動の進化
アジア IVS サミット 2	11/11-11/13	Online	開澤等 13 名	27/58/130	危機克服策を共有・発展
NVDA AVV⑨	11/11	Online	開澤、国領	10/15/043	SDGs10 集落事業紹介
CCIVS 総会	11/15-11/21	Online	開澤、井口	20/25/030	3年間の活動を総括・計画

7-5) 幾つかの会議・プロジェクトを紹介!

第16回・NVDA オンライン総会

20ヶ国・26団体から39人が参加! 「2021-23年の協働生き残り戦略」について熱く議論を交わし、原案を完成🎉
 必須事業に「エコ・フェア・平和村」「SNS大活用」、
 歓迎事業に「学校の衛生向上」「寄付の画期的促進」「バーチャル・ワークキャンプ」「動画作り訓練」を選んだ。



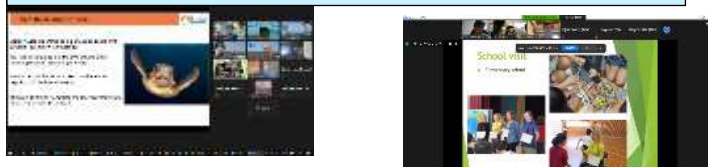
国連 ESCAP フォーラム

アジア太平洋経済社会委員会の「持続可能な開発に関するアジア太平洋フォーラム」に、代表の開澤が参加。国連関連の約100のNGOが登録。
 発言機会が極めて限られる中、「円卓会議」のゴール2(飢えをなくそう)とゴール13(気候変動)に参加。ローカルSDGsを集める仕組み、食料生産でのボランティアの役割等を提案した。率

AVV (アジア・ボランティア・ボイス)

SDGs を各テーマに順番に焦点を当て、世界の今を学び、NGO 活動を紹介し、アクションを企画。NVDA が昨年12月から隔月で開催。過去9回に24ヶ国・242人が参加。

第6回は10ヶ国から17人のNGOリーダーや若者が参加☆SDGs 14(海の豊かさを守ろう)をテーマに、インドの海亀保護や韓国で開催中のワークキャンプから発表。



第7回は12ヶ国から35人が参加☆SDGs 13(気候変動)をテーマに、カンボジア、熊本、インドネシアの事業を紹介! 七夕の夜「世界七夕アクション」も復活させ、いい雰囲気☆

<国際ボランティア第1回アジア・オンライン・サミット>

プログラム	登録	評価
① 画期的な実践活動	31人	4.40 ⑩
② 国内事業の発展教室	32人	4.31 ⑪
③ 家庭菜園・一斉アクション	41人	4.67 ②
④ AVV: SDGs 11(住みよい地域)	43人	4.62 ⑥
⑤ ストレス・マネジメント	37人	4.25 ⑫
⑥ オンライン事業の発展教室	39人	4.50 ⑧
⑦ エコクッキング・一斉アクション	46人	4.64 ⑤
⑧ アジア国際ボランティア・フェア	54人	4.65 ④
⑨ NVDAの「2030年目標」創り	24人	4.67 ③
⑩ 寄付事業の発展教室	29人	4.60 ⑦
⑪ 地球教育推進へのセクター間連携	52人	4.50 ⑧
⑫ NVDA24周年・記念パーティー	47人	4.71 ①

*評価: とても良い=5~とても悪い=1で換算

⑦: ミャンマーのサラダをエコな方法で作って、一緒に食べ、おしゃべり



⑤: マレーシアからの講師と、実際にヨガの呼吸法も。NGOリーダーにも効果的かも。

⑨: 社会の変革、IVSのパワーUP、協力網の発展の3種を、活発に話し合い、有意義に!



⑫: ビールやお茶で乾杯した後、歴史を振り返るクイズ、全員が1分ずつ写真と共に語る秘話、100年後への思いを出し合いました。

11/11-13に、NVDAとNICEの共催、国際交流基金アジアセンターの助成で行われ、とっても素晴らしいものになりました🎉 全大陸! の24ヶ国・58団体から130人が475の参加を登録、半数位が実際に活発に参加(集計は後で)。何より12個のカラフル🌈な企画がどれも楽しく、仲良く、実のあるものになりました🎉
 参加者からの評価はどの企画も高く、100点換算にすると最低85点~最高94点で平均でも91点に!

7-6) 大学・高校との連携：15 大学・高校と提携！

	校名	Group workcamp	単位・授業	出展	他
1	国土館大学		開澤が定期で 3 種の授業		短期 Workcamp に 8 人参加
2	法政大学			留学フェア	
3	文教大学	ミャンマーOnline	開澤が講演		教授は NICE に多額の寄付も
4	杉並総合高校		井口が毎週授業		卒業生がリーダー等で活躍
5	東洋大学		井口が OL 授業		
6	中央大学		開澤が講演 2 回		副代表がボラセンに勤務
7	淑徳大学		島山が OL 授業		
8	東京都立大学		島山が OL 授業		
9	名古屋商科大学	国内 3 事業開催	単位提携		推進校提携。今年から開始！
10	大阪大谷大学				推進校提携
11	神戸大学	国内 1 事業開催			
12	立命館大学	サークルが富山で			
13	四国大学		島山が OL 授業		

7-7) 国内の他セクターとの協力

政府・関連財団

多額の補助金（雇用調整助成金、一時・月次支援金等）や助成金（国際交流基金、国土緑化推進機構）を頂き、活動推進への大きな力に！

長崎県では「地域おこし協力隊」の主導、新上五島町役場の共催で、新たなワークキャンプが実現。



NPO・個人

事業の共催に加え、講演へ互いに招く等、多くのグループと連携。

個人でも、会員・寄付者・共催団体の方々に加え、家を NICE の事務局に無償で提供（開澤瑞枝さん）、家の寄贈の申し出（大阪府）、沢山のリンゴ等を差入（高橋陽子さん）等、大勢の方々に支えられた。

企業・店

1・5・6 章等で記載の通り、多くの企業と寄付、グループ・ワークキャンプ等、様々な形で強固に連携。

航空券（ミヤ・インターナショナル）、旅行保険（共済会）、寄付サイト（シンカブル）等、事業実施の際の Win-Win での提携も継続中。



7-8) 2030 年の 5 大目標と、2021 年のステップ

2030 年の目標	22 年の目標
① 海外 ：世界全体の国際ボランティア活動を発展させ、事業数・参加者数・成果を倍増☆	☆ 大勢が募集できる寄付を立ち上げ、危機脱出へ寄与。 ☆ NVDA 代表としてアジアの活動を救うために尽力。
② 海外 ：各分野の国連機関や多国籍メディア・企業と連携し、世界 IVS スキームを開始♪	SDGs への国際ボランティア活動の成果と 2030 年目標をまとめ、ビデオを作って国連機関や企業と提携。
③ 政府 ：長期ワークキャンプでの連携事業や長期ボランティア・ビザの創設を実現！	つながりを活用し、様々な実績を示しながら、政府・政党に提言を出し、集落再生事業にも本格的に着手！
④ 企業 ：CSR・社員研修・本業での連携（交通等）を積み重ね、100 社の団体会員を獲得。	☆ 休業者を対象とした、長期ワークキャンプを共催！ ☆ 会員経験者の所属企業へ働きかけ、寄付事業を拡大。
⑤ 市民 ：一般に広げ、ワークキャンプを知っている人 1000 万人、参加した 10 万人に。	「国際ボランティア・応援人」への案内・紹介を開始。国内外の著名人（スポーツ選手、歌手等）も 10 人確保。

8章) 財務・決算

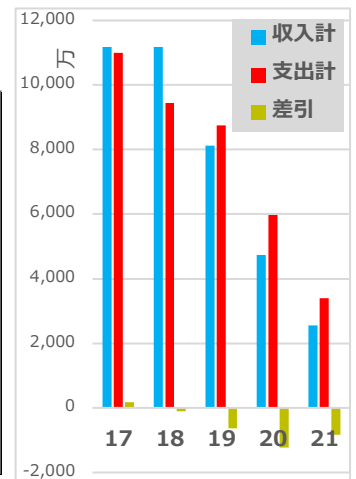
[目次に戻る](#)

8-1) 2021年の3大ニュース

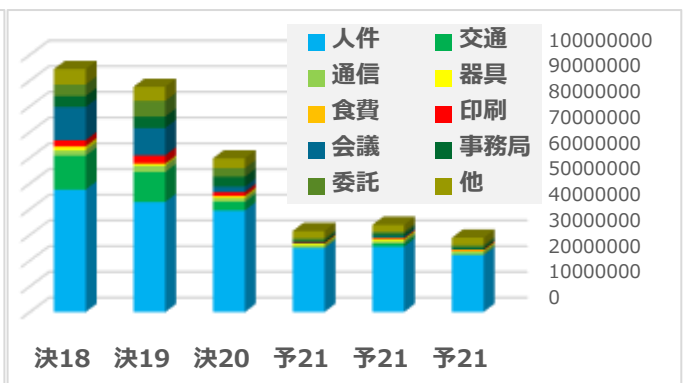
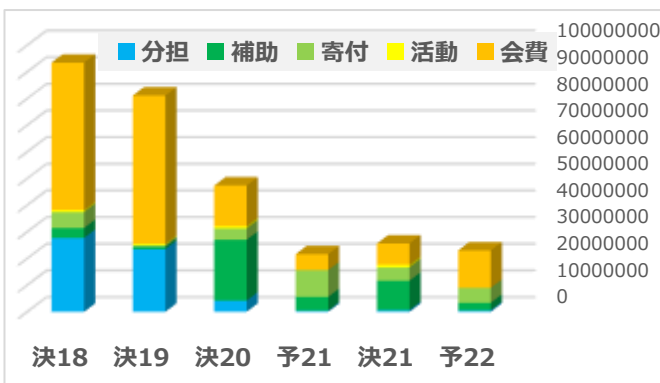
- ① 2020年はコロナ禍により、過去最大-1234万円の赤字に・・・
- ② 約1,100万円の補助金を獲得（雇用調整助成金、月次支援金等）
- ③ 経理担当職員が太宰から梶田に交代。

8-2) 2017～2021年の決算

単位：円	17	18	19	20	21
分担金	20,012,072	27,674,404	23,521,701	4,223,547	635,375
補助・助成金	2,307,690	3,720,233	900,000	22,826,201	10,989,416
寄付	35,052,689	5,979,312	573,629	4,176,573	4,983,526
活動収入	1,781,484	312,825	571,324	965,992	1,061,540
会費	52,578,489	55,801,182	55,618,970	15,204,605	7,963,500
収入計	111,732,424	111,732,424	81,185,624	47,396,918	25,633,357
人件費	47,103,439	47,589,396	42,754,597	39,477,834	25,439,947
他支出	62,826,448	46,883,219	44,795,456	20,266,085	8,470,965
支出計	109,929,887	94,472,615	87,550,053	59,743,919	33,910,912
差引	1,802,537	-984,659	-6,364,429	-12,347,001	-8,277,555



- * 18年までの寄付は大部分が、HSBC/ドラゴン財団による大型寄付事業
- * 21年は10月までの実績を基に推計した暫定決算。22年3月に判明する確定決算で、若干変わる可能性あり。



8-4) 2021年に頂いた補助・助成金（見込み含む）

種別	名称	金額
補助金	雇用調整助成金	8,633,056
補助金	家賃支援給付金	63,360
補助金	月次支援金	2,000,000
助成金	国際交流基金・アジアセンター	293,000
合計		10,989,416

- * パブリック・サポート財団「J-coin 基金」の助成（200万円）は、事業は主に今年実施されたが、2020年決算に計上されたため、表には含めず。
- * 国土緑化推進機構の助成（約90万円）も今年決定し、一部の活動は既に実施されたが、メインは来年で精算払いでもあるので、2022年決算に計上。

貸借対照表 2020.12.31（簡易版）

* 詳細は Web で公開しております。

流動資産	42,763,649
固定資産	7,695,092
資産合計	50,458,741
流動負債	7,947,390
負債合計	7,947,390
指定正味財産	1,429,860
前期繰越一般正味財産	53,908,352
当期一般正味財産増減額	-11,397,001
正味財産合計	42,511,351
負債及び正味財産合計	50,458,741

9章) 広報

[目次に戻る](#)

9-1) 2021年の3大ニュース

- ① オンライン・イベント急増：65回企画（19年0回→20年52回）。例は以下や9-4)を参照。
- ② GoogleとYahoo!で「海外ボランティア」「国際ボランティア」「国内ボランティア」検索第1位をキープ。
- ③ 対面型とオンライン型のインターンを募集！1名がオンライン・インターンとして、SNS運用などで活動。

日本縦断 NICE な旅 あなたはどこに行きたい？

3/9-4/20に8つのNICE地方チーム（函館・関東・石川・東海・京都・関西2つ・九州）がペアを組み、全6回のコンテンツを実施！総再生数6,625



カラフル・ボラン ティア・ナイト

環境・福祉等、分野毎に各地のNPOとの中継や参加報告。参加者36人、総再生数2,521。

9-2) PR ツール

メルマガ、プレスリリース：国内ボランティア、オンラインイベントを中心に。情報を発信した。

	Facebook (いいね)	Twitter (フォロワー)	Instagram (フォロワー)	LINE (友達)
19年	7,292	2,458	964	511
20年	7,421	2,409	1,172	471
21年	7,439	2,338	1,223	488

* 21年は12月13日時点。LINEは、19年11月よりLINE公式アカウントに移行（2019年9月まではLINE@）

9-3) 雑誌・新聞・テレビの取材・寄稿

< 2021年にNICEが掲載された、主な媒体（他にも各地でのワークキャンプを中心に多数あり） >

	媒体名	種別	掲載日	内容
1	共同通信	オンライン	03/13	和歌山県古座川町で、初の週末ワークキャンプ
2	読売新聞	新聞、オンライン	03/14	(同上)
3	中日新聞	新聞、オンライン	03/13	(同上)
4	タウンニュース（川崎市麻生区版）	新聞	05/18	岡上週末ワークキャンプでの里山保全の様子
5	KUFS+（神戸市外国語大学情報サイト）	オンライン	06/22	ぼらいやーの紹介（同大のぼらいやー生が投稿）
6	ガクチカ（学生対象のウェブマガジン）	オンライン	07/01	NICEの団体紹介
8	毎日新聞（伊賀版）	新聞	08/15	子どもキャンプ（週末ワークキャンプ）の取材
9	朝日新聞	新聞	11/09	大井ワークキャンプ（徳島県）の活動取材
10	毎日新聞	新聞	11/28	今庄週末ワークキャンプの活動取材
11	福井新聞	新聞	11/28	今庄週末ワークキャンプの活動取材
12	福井ケーブルテレビ	テレビ	11/29	今庄週末ワークキャンプの活動取材
13	読売新聞	新聞	11月中	今庄週末ワークキャンプの活動取材



9-4) 説明会・イベント

●オンライン説明会：21 回開催 118 人参加 ●イベント：40 回開催（オンライン 37 回 対面 3 回）

< 2021 年に NICE が出展（赤網）・主催した主なイベント >

開催場所	日付	イベントタイトル
オンライン	01/28 等、6 回	NICE なしゃべり場 ONLINE
神奈川県横浜市	02/10 水	緊急企画！新オフィスから zoom で中継します。
オンライン	02/19 等、6 回	NICE bar
オンライン	03/09 火	日本縦断 NICE な旅
和歌山県古座川町	03/13 土	大地を見上げる映画祭 Vol.0
オンライン	03/15 月	経験者が語る！ここが私のアナザースカイ
オンライン	03/23 等、5 回	「日本縦断 NICE な旅」 あなたはどこに行きたい？
オンライン	03/24 水	ぼらいやーナイト
オンライン	03/26 金	NICE で「人生が変わった人」大集合！～moily 池宮さん
オンライン	03/27 土	中長期ボランティア・トークライブ（12 人＋5 地域のリーダーの話）
オンライン	05/22 土	NICE ボランティア説明会（NICE 関東学生チーム「ぐるーまる」主催）
オンライン	07/04 等、2 回	NICE な哲学サロン
オンライン	07/12 等、6 回	SDGs を超える「カラフル・ボランティア・ナイト」
オンライン	08/05 木	ワークキャンプってなに？聞きたいことが気軽になんでも聞ける！
オンライン	08/05 木	親子で楽しむ時短レシピシェア会&オンラインで間違い探し
オンライン	09/19 日	NICE×Good!×IVUSA 国際ワークキャンプフォーラム
オンライン	10/30 土	SDGs を超える「カラフル・ボランティア・ナイト vol.2」
オンライン	12/03 金	ボランティアコーディネーター全員集合！農山村と都市と人を結ぶいい関係とは
三重県いなべ市	12/05 日	いなべまるごと農業体験（NICE 東海地方チーム「ないちゅ」主催）
オンライン	12/18 土	NICE 寄付者の集い

* 既に他章でご紹介したオンライン事業や国際プログラムや、団体内部でのミーティング・研修等は除く。

9-5) 2030 年の 5 大目標と、2022 年のステップ

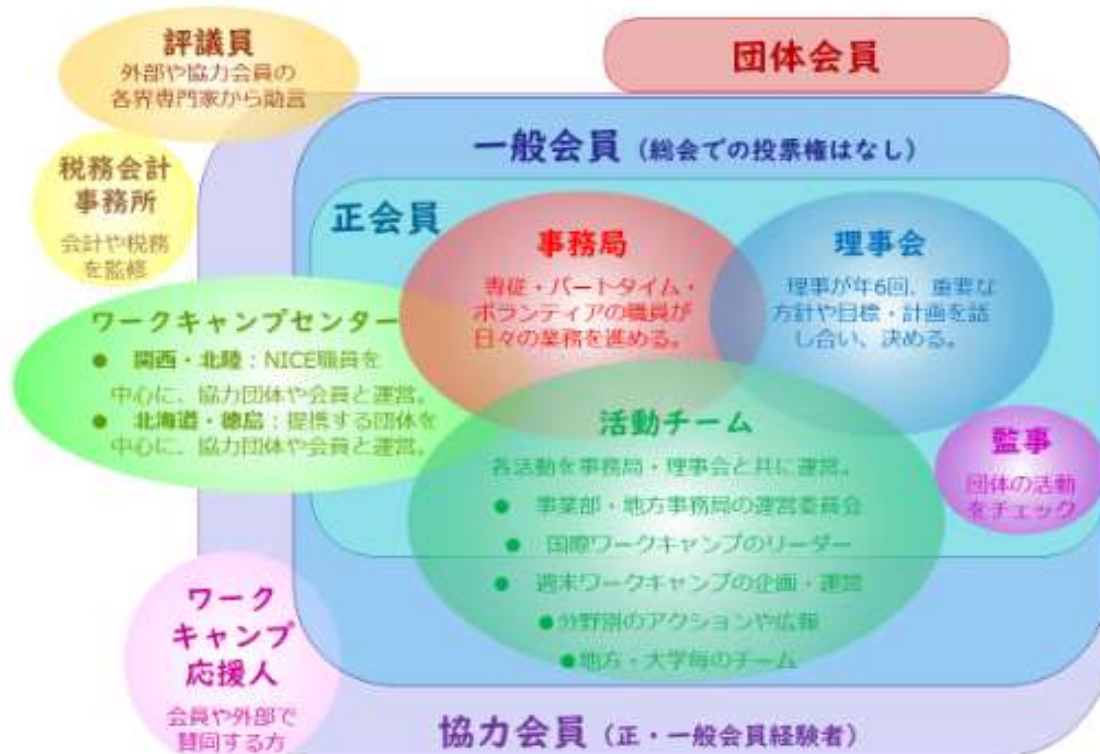
2030 年の目標	22 年の目標
<p>① ツール：</p> <p>★ ボランティアが発見する世界中の面白い素材を動画で効果的に発信。年間 100 万人が視聴し、事業 10 個、参加者 1,000 人増・寄付 100 万円増に寄与。（映画化企画）</p> <p>★ 参加者や地域からの素材を蓄積し、YouTube チャンネルの活用。登録者数 3 万人。</p>	<p>リーダー業務として活動中の写真・動画など素材回収の定着。オンラインイベント時の録画素材の編集、活用。</p>
<p>② 成果発信：共通の成果測定ツールを作成し、事業サイクルに埋め込んで運用、効果を可視化できるようになる。</p>	<p>開催準備、広報の継続。来年度のツール活用方針を事務局内で意見出し。</p>
<p>③ WEB・メディア：</p> <p>★ 参加者募集情報のみならず、成果発信、寄付・共催募集等の情報を充実させ、SNS と効果的に連動したサイト構築（HP リニューアル）</p> <p>★ TV、新聞の取材、番組出演等を飛躍的に増やし、国民認知度 10%</p>	<p>地方チームへの説明会ノウハウの共有、各大学等での対面説明会の企画。ワークキャンプ、イベント時のメディアへの発信強化（プレスリリースの定着）</p>
<p>④ イベント：</p> <p>★ 会員と一般の人が自由に集まり情報を交換しあえる「たまり場」「場所」を作るため、分野別イベント等で他団体とコラボ</p> <p>★ 形成されるコミュニティの運用方針の確立。過去会員も含めた、ネットワークづくり</p>	<p>地方（学生）チームによる研修計画の作成。事前研修時に広報、参加者コミュニティの基盤づくり。外部への認知度向上に向けたコラボイベントの模索。</p>
<p>⑤ DB（データベース）：会員情報を一元管理し、参加者増に繋げる。活用によって累計参加者 1000 人増。</p>	<p>職員間での DB 各機能の理解を統一。活用に向けたアイデアだしの機会設定。</p>

10章) 組織 [目次に戻る](#)

10-1) 2020年の3大ニュース

- ①**会員**：今年もキャンプリダー、週末ワーク企画等、大活躍！過去経験者の方々から多大な寄付を頂いた。
- ②**理事**：未曾有の危機が続きオンラインでのやりとり中心も、献身的な活躍で事務局を支えた！
- ③**事務局**：2月に全国事務局を横浜に移転。職員体制もコンパクトに。新たな働き方（特別事業契約）も。

< NICE の組織図 >



10-2) 会員 ~会費有効会員は、変わらず減。。~

種別	正	正家族	一般	一般家族	小計	団体	協力	Web
19年12月	29	4	1,421	7	1,461	188	14,841	9,061
20年12月	27	5	412	7	451	1	16,326	10,336
21年12月	13	6	383	11	413	2	16,534	11,195

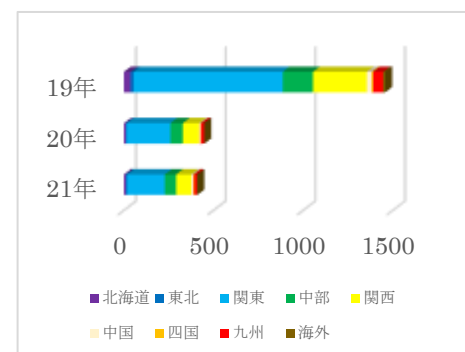
* 一般=年会費を支払った会員。正=一般に加え、総会の投票権を持つ会員。

家族=家族で一般 or 正に。団体=20年は分類方法を変え、整理中（数団体あり）

協力=連絡が付き、Newsを送る会員経験者。Web=Web登録し、催し等に参加

* 以下の地域別内訳は、年会費有効会員（正+正家族+一般+一般家族）。

		北海道	東北	関東	中部	関西	中国	四国	九州	海外
19年	比率	3%	1%	57%	12%	21%	2%	1%	4%	1%
	人数	38	18	830	169	299	28	8	56	11
20年	比率	2%	1%	54%	15%	20%	2%	1%	4%	0%
	人数	11	5	244	69	90	8	3	18	0
21年	比率	2%	2%	47%	14%	19%	2%	1%	4%	0%
	人数	11	7	210	64	84	11	4	17	2



10-3) 登録チーム ~26 チーム。コロナ禍で活動が制限されたチームも多数あった~

	種類	チーム名	活動拠点	主な活動	活発度	開始
1	週末	小山	東京都東久留米市	児童養護施設で遊び、遠足やパーティ企画	3	1997
2	週末	浜松	静岡県浜松市	ウミガメ保護。卵の安全確保、放流	1	1999
3	週末	富田林	大阪府富田林市	間伐、下草刈り、遊歩道の整備等、里山の保護	5	2000
4	週末	つくば	茨城県つくば市	知的障がい者達と、田植え・稲刈り等の有機農業	1	2002
5	週末	田原	愛知県田原市	フリースクールの生徒達と交流しながら、森整備	1	2007
6	週末	もがみ	山形県最上町	文化維持のためのお柴灯祭の補佐	1	2009
7	週末	しもぎと	埼玉県小川町	耕作放棄地の解消・里山保全・農業の手伝い	3	2015
8	週末	丸子班	静岡県静岡市	丸子地区にて地区の活性化、世代間交流を図る	1	2015
9	週末	裾野	静岡県裾野市	森林保全活動、農地保全活動、環境学習活動	1	2017
10	週末	大土	石川県加賀市	住民2人の山村で、田畑の整備等	4	2017
11	週末	今庄	福井県南越前町	地域の過疎化にともなう様々な集落活動の手伝い	3	2018
12	週末	氷見	富山県氷見市	地域の過疎化にともなう様々な集落活動の手伝い	1	2018
13	週末	加西	兵庫県加西市	耕作放棄地再生と村づくり（エコビレッジ）	1	2018
14	週末	瀬戸田	広島県瀬戸田	映画祭のお手伝い	1	2018
15	週末	岡上	神奈川県川崎市	緑地の保全、特に茅葺き小屋の再建	4	2018
16	週末	HAPPY BABY FARM	愛知県美浜町	農作業、農園施設等の整備、イベント企画・運営	3	2019
17	週末	いわき	福島県いわき市	湯ノ岳、田人で里山の整備	1	2020
18	週末	市原	広島県呉市	地域活性化を目的としたキャンプ場整備、古民家改修	5	2021
19	週末	せりざわ	栃木県日光市	草刈り、耕作放棄地の手入れ、地域住民と交流	3	2021
20	分野	難民	神奈川県横浜市	難民ワークキャンプの企画・運営	1	2018
21	組織	Kanyko-NICE	北海道函館市	NICEの広報、ワークキャンプ企画、会員間の交流	4	2017
22	組織	NEXY	関西各地	NICEの広報、ワークキャンプ企画、会員間の交流	5	2016
23	組織	オンライン運営	オンライン	ワークキャンプに付随するコミュニティ形成や交流イベント	4	2020
24	地方	古都 NICE	京都府京都市	NICEの広報、ワークキャンプ企画、会員間の交流	3	2015
25	地方	中部 NICE	東海地方各地	NICEの広報、ワークキャンプ企画、会員間の交流	2	1997
26	地方	九州 NICE	九州地方各地	NICEの広報、ワークキャンプ企画、会員間の交流	4	1998

Pick UP! ① 新チーム 市原

広島県呉市安浦町市原地域。ぼらいや一経験者2名が中心となって結成。6月~11月に週末ワークを5回開催!



Pick UP! ② NEXY

関西 NICE の学生チームとして、関西を中心にイベントの企画・運営や広報活動。9/16-18 には徳島合宿も開催!



10-4) 全国年度総会

- 日時：2021年12/18(土) 14:00~17:00
- 場所：神奈川県横浜市、大阪府大阪市、オンラインに分かれ、前後に場所ごとに交流やワーク、話し合いを行った。
- 参加者：??名(関東??名、大阪?名、オンライン??名)
- 議題：1) オープニング(ベスト・インパクト劇)
2) 理事の選任 3) 2021年の活動報告・暫定決算
4) 2022年の活動計画・予算(特に以下を分科会で深掘り)
☆わくわく復興大作戦 ☆ワークキャンプ推進大作戦
- 主な決定事項：(総会終了後に記述)

10-5) 理事会

- 現在、①元職員・理事・アクティブ会員、②NICE と関わりのある各界の専門家、③NICE 出身のインフルエンサーを主な対象として、「NICE 応援人」を本格的に始動する構想を練ってます。意見・提案あればぜひ！

< NICE の役員(理事・幹事)一覧 >

	氏名	役職	担当	入会	開始	任期	今年末	職業	専従職員	在住県
1	開澤真一郎	代表	-	90	92.04-	-22.03	改選	NICE 専従職員	92.04-	神奈川
2	初田裕美	副代表	⑥大学	95	99.04-	-22.03	改選	大学職員	99.04-04.05	神奈川
3	馬本友幸	副代表	⑦寄付	02	06.04-	-22.03	改選	会社員	-	京都
4	山口紗矢佳	理事	⑤全般。⑩F(中国)	07	12.04-	-22.03	改選	フリーランス	09.04-15.09	広島
5	林広美	理事	②世ワ。⑨DB	92	94.10-	-22.03	改選	会社員	-	東京
6	井口育紀	事務局長	-	01	09.04-	-23.03	非改選	NICE 専従職員	08.06-	埼玉
7	菊庵章史	理事	⑩F(西)。⑨OL 会議	11	17.04-	-23.03	非改選	自営業	-	和歌山
8	金井悠介	理事	⑩C(北陸)。⑦寄付	14	19.04-	-23.03	非改選	会社員	-	北海道
9	金子尚弘	理事	⑩E(東海)。⑦全般	08	19.04-	-23.03	非改選	会計士	-	愛知
10	佐藤優成	理事	①リーダー。⑧大学	17	19.04-	-23.03	非改選	大学生	-	東京
11	辻克朗	理事	⑩F(西)。⑧⑨全般	15	19.04-	-23.03	非改選	フリーランス	-	大阪
12	豊永はるか	理事	②。①⑤リーダー	05	19.04-	-23.03	非改選	財団職員	07.04-11.09	東京
13	金澤鮎香	理事			21.04-	-23.03	非改選	フリーランス	-	大阪
1	末吉和弘	監事	-	99	09.04-	-	-	公務員	02.04-08.04	神奈川
2	上田英司	監事	-	01	03.04-	-	-	NPO 職員	02.04-??	東京

* * 各情報は21年12月現在。
名前の赤網：現専従職員。黄網：専従職員経験者。

* 名前の赤網：現専従職員。黄網：専従職員経験者。開始の赤字：中断あり

10-6) 事務局・専従職員

- 2月に全国事務局を新宿から横浜の「NICE ハウス」に移転。職員が住み込んで職員や会員の合宿も実施。



- 昨年に続き事務局を閉鎖し、在宅勤務が主に（木-金は事務局勤務が多い）。12/1より部分再開。
- 4名が退職（2月に永井、3月に小野、太宰、黒澤）。8月から藤原、10月から水口が産休に。無事出産！昨年に続き今年も休業（時短含）を実施。各職員の休業は以下の表を参照。

< NICE の職員(専従・パートタイム・特別委託)一覧 >

氏名	勤務期間	出身	役職	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
開澤真一郎	92.04~	神奈川	代表/海外事業部長/寄付部長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
井口育紀	08.06~	埼玉	事務局長/集团事業部長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水口美穂	12.04~	大阪	北陸事務局長	△	△	△	△	△	△	△	△	△	▼	▼	▼
岡田朋子	14.06~	北海道	北海道事務局長	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
小野由美子	17.06~	福島	中長期事業部長	△	△	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長谷川晋理	17.07~	徳島	徳島センター長	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
島山拓也	18.02~	埼玉	関西事務局長/広報部長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
永井理絵	19.01~	千葉	中長期事業部主任	△	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
太宰茉里	19.02~	愛媛	集团事業部主任	△	△	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-
藤原愛	19.02~	東京	短期派遣事業主任	休	休	休	休	休	休	休	休	▼	▼	▼	▼
黒澤早耶	19.04~	静岡	短期海外事業部主任	△	△	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-
梶田真美	20.01~	宮崎	国内事業部長/総務・経理部長	休	休	休	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山口紗矢佳	21.03~	広島	オンライン事業部長	-	-	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

◎：フルタイム。○：部分勤務（半分以上）。△：部分勤務（半分以下）。休：完全休業。-：退職。▲：特別事業契約。▼：産休・育休

10-7) 西日本（近畿・中国・四国）を概観すると、

<2021年の3大ニュース>

- ① **（事業）男木島短期 WC（香川県）、和歌山〈一枚岩映画祭〉週末 WC を新規開催！**
 地域側からも好評。男木島は中長期の受入も視野に来年の開催を計画。
 和歌山〈一枚岩映画祭〉はオンラインも絡めた連続週末企画に発展。
- ② **（組織）市原週末チームが発足！**
 21年4月にチーム発足後、5回の週末 WC を開催！地域にも定着し今後は国際や中長期の受入も視野に。
- ③ **（組織）関西圏のチームが活発に活動！**
 * WEST（関西事務局運営員会）合宿（9/4-5 徳島）
 * NEXY（関西学生チーム）合宿（9/16-18 徳島）
 * 京都 NICE 合宿（11/24-25 京都）、各チームでの合宿を開催。チームビルディングで内部の連携を深める。

2030年の目標	22年の目標
①運営：中国・四国地方に1つずつ地方ワークキャンプセンターを設立！	* 中四国地方での新規開拓。 * 21年開催中止事業の復活。
②運営：ボランティアの集まるオフィスづくり。	* NEXY 主催での事後研修イベントの企画。参加者のコミュニティづくりの促進。
③連携：企業 CSR の促進。UPS のように開催地とつながる企業を2社増やす！	* 留学生・在日外国人向けコミュニティの情報収集。
④教育：授業×ワークキャンプの定例化！四国4大学でワークキャンプ！	* NEXY、京都 NICE メンバーと連携し対面説明会開催の調整。
⑤海外：インドネシア、マレーシア事業が継続参加型ワークキャンプに。	* 関西事業復活の調整。情報収集。



NICE 総合報告書 2021（暫定版 1）

2021年12月16日作成 ●編集：開澤真一郎（NICE 代表）
 特定非営利活動法人 NICE（日本国際ワークキャンプセンター）
 ウェブ：<https://nice1.gr.jp> メール：info@nice1.gr.jp（一般問合せ）